

〈論 説〉

自民党政権における派閥と役職人事

和 足 憲 明

〈要 旨〉

自民党は「長期政権」および「自民党一強」という政治状況を築いてきた。この点で自民党政権を分析することは、社会的・学問的に重要な課題である。自民党政権の分析に際しては、総理・総裁や幹事長といった政権中枢、および派閥と派閥領袖に着目する必要がある。なぜなら、自民党政権は「派閥の連合体」であり、「誰があるいはどの派閥が権力を握るのか」、「どのようにポストを配分するのか」という点を分析することが重要となるからである。しかし、これらに関する基礎データは十分に整備されていない。そこで本稿は、自民党政権における政権中枢の構成（首相・官房長官・党幹部・主流派の派閥）と役職人事（首相・自民党総裁・官房長官・幹事長・総務会長・政務調査会長・選挙対策委員長・副総裁・参議院議員会長・参議院幹事長）に関するデータを整備する。

〈キーワード〉 自民党政権 派閥 主流派 役職人事

〈目次〉

1. 問題意識
2. 先行研究の検討
3. データの内容と作成方法
4. データの検討
5. 結 論

1. 問題意識

自由民主党（以下自民党）は、1955年の保守合同から38年間長期政権を維持した。その後、1993年と2009年の2度の政権転落に際しても自民党は短期間で政権に復帰し、現在「自民党一強」と呼ばれる状況にある。このように、「長期政権」および「自民党一強」という点で、自民党政権を分析することは社会的・学問的に重要な課題である¹⁾。

そのうえで自民党政権を分析する際には、総理・総裁や幹事長といった政権中枢、および派閥や派閥領袖に着目することが必要である。なぜなら、自民党政権は「派閥の連合体²⁾」であり、「誰があるいはどの派閥が権力を握るのか」、「どのようにポストを配分するのか」という点を分析することが重要となるからである。実際に、自民党政権を分析した北岡伸一によれば、「自民党は他の政党の挑戦を許さないほど強力であった。しかしその総裁が、盤石の力を持っていたわけではない。党内には、いくつかの派閥が存在し、派閥のリーダーたちは政権をめざして競争し、機会があれば総裁に取って代わろうとしていたからである³⁾」。

日本の政権党である自民党の権力の中心は「政権党幹部」にある。政権党幹部は「政権中枢」と「派閥領袖クラス」から構成される。政権中枢とは「首相・官房長官・党四役などの党幹部・主流派の派閥領袖⁴⁾」を指し、派閥領袖ク

1) 中北 2017: i 頁。

2) 「無派閥」議員も存在するとはいえ「無派閥」議員は少数であり、「派閥に所属する」議員が多数派である。実際に、直近の状況（2023年9月）を見ると、自民党の全国会議員379名のうち「無派閥」議員は73名であり、割合は約20%にとどまる（『読売新聞』2023年9月20日朝刊4面）。また、政権運営は「派閥」が基本単位となっている。たとえば、岸田政権では政権発足以降、それぞれ第2・第3・第4派閥の領袖である麻生副総裁、茂木幹事長、岸田首相の三人が政権運営の方向性を協議する「三頭政治」が行われている（朝日新聞政治部 2023: 168-169頁、『朝日新聞』2023年9月13日朝刊2面）。

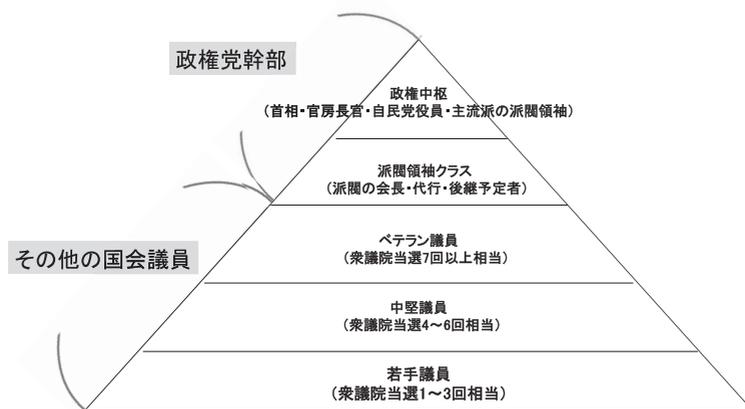
3) 北岡 2008: 11頁。

4) 自民党の安定多数体制の下では、首相指名選挙は儀式化してしまい、実質的な権力創出は自民党総裁の選出過程において行われる。その実体は派閥間の争いである。しかも自民党内には数個の派閥が存在しているから、派閥間の連合を形成する必要がある。なぜなら、一つの派閥だけで自民党内の過半数を占めることはできず、複数の派閥が連携

ラスとは「派閥の領袖・代行・後継予定者」を指す（図1参照）。政府・党の役職に就いていなくても、主流派の派閥領袖は強い影響力を持つ（たとえば大平・鈴木・中曽根政権における田中角栄、菅・岸田政権における安倍晋三など）。他方で非主流派の派閥領袖も、主流派に対する批判を結束して行うなど一定の影響力を持つ（たとえば大平政権における福田派・三木派、森政権における加藤派・山崎派など）。派閥は統制力が徐々に低下しているとはいえ、自民党総裁選挙、政権運営、役職人事において大きな影響力がある⁵⁾。

以上のように、自民党政権の分析に際しては、政権中枢の構成や役職人事、すなわち「誰があるいはどの派閥が権力を握るのか」、「どのようにポストを配分するのか」という点を分析することが重要である。しかし、これらに関する基礎データは整備されていない。

図1 自民党政権の階層構造



注：参議院議員の場合は、6年の任期を中間に実施される参議院選挙を境として前半と後半に分け、当選1回の参議院議員でも任期の後半に入った時点で衆議院当選2回相当となる（佐藤・松崎 1986：37-38頁、松浦 2023：129頁）。
 出典：「新聞記事」（朝日新聞・読売新聞・毎日新聞）より筆者作成。

して初めて政権を獲得できるからである。その意味で、自民党政権は「派閥連合政権」である。これは「勝ち組派閥による連合政権」であり、それらの派閥は「主流派」を形成する。一方、負け組派閥は「非主流派」として主流派と距離を置いたり、主流派に対抗したりする（井芹 1988：83-85頁）。

5) 中北 2017：1章。

そこで本稿は自民党政権における政権中枢の構成（首相・官房長官・党幹部・主流派の派閥）と役職人事（首相・自民党総裁・官房長官・幹事長・総務会長・政務調査会長・選挙対策委員長・副総裁・参議院議員会長・参議院幹事長）に関するデータを整備する。

2. 先行研究の検討

以上の問題意識から本稿にとっての先行研究は「自民党研究」であり、（1）包括的研究、（2）派閥と政党組織、（3）自民党政権と政治改革、（4）政治史に分類できる。これらの先行研究の類型は、さらに次のように下位類型へと分類することができる（表1参照）。（1）包括的研究は、①自民党政権の全体像、②長期政権、③政策決定過程に分類できる。（2）派閥と政党組織は、①派閥、②政党組織と人事に分類できる。（3）自民党政権と政治改革は、①選挙制度と自民党、②政治改革、③政治資金改革、④首相・官邸主導、⑤小泉政権と第2次安倍政権に分類できる。（4）政治史は①学術的研究と②ジャーナリスト・実務家の記述に分類できる。

以上の先行研究を検討すると、佐藤・松崎（1986）、北岡（2008）、東大法・蒲島郁夫ゼミ（2000）、東大法・第7期蒲島郁夫ゼミ（2008）、奥（2022）、中北（2017）以外には、自民党の政権中枢の構成や役職人事と派閥に関する体系的データは存在しない。佐藤・松崎（1986）、北岡（2008）、東大法・蒲島郁夫ゼミ（2000）、東大法・第7期蒲島郁夫ゼミ（2008）および奥（2022）は網羅的データである一方、それぞれ「1955年から1985年まで」、「1955年から1993年まで」、「1986年から1999年まで」、「小泉政権のみ」というように、分析期間が限定される弱点を抱える。また、中北（2017）は確かに派閥とポスト配分を分析する貴重な研究ではあるが、分析期間が不統一であり分析対象となるポストも限られている。

そこで本稿は、上記の先行研究の問題点を踏まえて、長期的かつ網羅的なデータセットを構築していく。

表1 先行研究の分類

自民党研究 (1) 包括的研究	<p>①自民党政権の全体像：佐藤・松崎 1986、セイヤー 1968、カーティス 1987、カーティス 2001、Kohno 1997、北岡 2008、東大法・蒲島郁夫ゼミ 2000、飯尾 2007、中北 2017、中北 2019、Hrebenar and Nakamura 2000、Shinoda 2013。</p> <p>②長期政権：広瀬 1981、石川・広瀬 1989、Scheiner 2006、カルダー 1989、斉藤 2010、樋渡・斉藤 2011、McElwain 2008、Reed 2011。</p> <p>③政策決定過程：北岡 1985、的場 1986、Muramatsu and Krauss 1987、猪口・岩井 1987、日本経済新聞社 1983、木代 1985、福井 1969、キャンベル 2014、村川 1989、村川 2000、Shinoda 2020。</p>
自民党研究 (2) 派閥と政党組織	<p>①派閥：ライサソン 1967、Leiserson 1968、Cox and Rosenbluth 1993、Cox, Rosenbluth and Thies 1999、居安 1983、居安 1996、井芹 1988、川人 1996a、川人 1996b、猪口 1991、河野 1991、Kohno 1992、リード 1991、依田 1985、金 1997、待鳥 2001、待鳥 2002、中北 2014、田中 1981、田中 1986、渡辺 1964、渡辺 1967、渡辺 2014、河田 1996、加藤・マーシヨン 2008、奥 2022、朝日新聞政治部 1968、境家・谷澤 2005、白糸 2008、Prak 2001、Bettcher 2005。</p> <p>②政党組織と人事：野中 1995、野中 2008、野中 2013、Krauss and Pekkanen 2010、Krauss and Pekkanen 2011、待鳥 2015、建林 2013、笹部 2017、砂原 2017、松浦 2023、Ono 2012。</p>
自民党研究 (3) 自民党政権と政治改革	<p>①選挙制度と自民党：建林 2004、上神 2013、濱本 2018、蒲島 2004、カーティス 1983、Catalinac 2016、Reed 2009、Reed and Shimizu 2009、Nemoto 2020、Nemoto, Pekkanen and Krauss 2014、Pekkanen, Nyblade and Krauss 2014。</p> <p>②政治改革：待鳥 2020、川上 2022、佐々木・21世紀臨調 2013。</p> <p>③政治資金改革：広瀬 1989、岩井 1990、白鳥 1995、佐々木・吉田・谷口・山本 1999、濱本 2022。</p> <p>④首相・官邸主導：渡邊 2001、竹中 2006、高安 2009、待鳥 2012、野中・青木 2016、宮城 2021、Hayao 1993、Shinoda 2000、Shinoda 2023、George Mulgan 2000、Krauss and Nyblade 2005、Takenaka 2019、Mishima 2019、Iwasaki 2023。</p>

自民党研究 (3) 自民党政権と政治改革	⑤小泉政権と第2次安倍政権： 竹中 2006、内山 2007、上川 2010、奥・黒澤 2022、東大法・第7期蒲島郁夫ゼミ 2008、Estévez-Abe 2006、Mishima 2007、Shinoda 2003、牧原 2016、牧原 2018、御厨 2015、上川 2018a・b、朝日新聞取材班 2021、アジア・パシフィック・イニシアティブ 2022、Terada 2015、Endo and Pekkanen 2016、George Mulgan 2018。
自民党研究 (4) 政治史	①学術的研究：升味 1985a・b、石川・山口 2021、菅原 2014、奥 2014、奥・河野 2015、境家 2023、小宮 2010。 ②ジャーナリスト・実務家の記述： 葉師寺 2014、後藤 2014a・b・c、清水 2018、芹川 2018、奥島 2005、田村 2019、冨森 2006、後藤・内田・石川 1994a・b、伊藤 2009a・b、星 2019、宮崎 1970、宮崎 1981。

出典：筆者作成。

3. データの内容と作成方法

データの内容と作成方法を説明していく。

まず、データの内容について説明する。

(1) 分析期間は「55年体制の成立から岸田政権まで」(1955～2023年)とする。

(2) 収録項目は、①自民党の派閥の変遷、②首相⁶⁾・自民党総裁と所属派閥、③主流派の派閥、④官房長官⁷⁾と所属派閥、⑤自民党役員(「自民党役員会」として総裁とともに執行部を形成する幹事長・総務会長・政務調査会長・選挙対

6) 内閣総理大臣(首相)は、「憲法上、行政権を行使する内閣の首長として、国務大臣の任免権、内閣を代表して行政各部を指揮監督する職務権限を有するなど、内閣を統率し、行政各部を統轄調整する地位」にある(「ロッキード事件丸丸ルート最高裁判決要旨」『毎日新聞』1995年2月23日朝刊15面)。

7) 「閣議決定を要するような重要案件は必ず官房長官の了承を得なければならない。また、官房長官は毎日二度定例の記者会見を開き、内閣と政府全体のスポークスマンの役割も果たしている。そのため、官房長官は政府の決定の多くに関与しているし、たとえ直接的に関与してなくても決定の内容は必ず報告されるから、その業務内容は膨大なものになる。官房長官に最も要求されるのは、政策の総合調整能力である。それには官房長官がそのポストに就くまでに培ってきた政治経験や人脈、知識が必要とされるし、与党議員や官僚とも緊密に連絡をとりながら動かなければならない」(信田 2013: 103頁)。

策委員長・副総裁・参議院議員会長・参議院幹事長⁸⁾と所属派閥である。自民党役員のうち「幹事長・総務会長・政務調査会長」は「党三役」と呼ばれる重要ポストである。選挙対策委員長は、2007年9月の福田康夫総裁時代に総裁直属のポストとして新設され、「党三役」と同格の自民党執行部の一員となり、「党三役」と合わせて「党四役」と呼ばれることになった¹⁰⁾。もっとも、選挙対策委員長は2009年9月から2012年12月までの野党時代には選挙対策局長に格下げされていた¹¹⁾。「副総裁」は常設ではないが党の意思決定に大きな影響力を持つ¹²⁾。「参議院議員会長・参議院幹事長」は自民党役員として「自民党執行部」を構成する（参議院幹事長は1994年以降¹³⁾）。

8) 『自由民主党党則』第25条によれば、「党の各機関の総合調整及び党の総合戦略の策定を行い、党務の執行に関する重要事項を決定するため」役員会を置き、役員会は「総裁・幹事長・総務会長・政務調査会長・選挙対策委員長・副総裁・参議院議員会長・参議院幹事長」によって構成される。

9) 参議院自民党の派閥については、1960年代後半まで二重構造になっていた。まず、参議院でも衆議院の各派閥に対応する同一派閥が系列化されていた。次に、衆議院と同一の各派閥が3つの議員集団に編成されていた。3つに編成された理由は2つある。第1に、1956年の総裁選で3人の候補が争った事態に対応したためである。第2に、参議院の入閣枠が3名であり人事上の対抗関係から3つの議員集団が定着した（渡辺 1967：229頁、佐藤・松崎 1986：242頁、朝日新聞政治部 1968：68頁）。3つの議員集団とは「清新クラブ（岸派・佐藤派）」「みずほクラブ（大野派・河野派・藤山派）」「懇話会（池田派・三木派・石井派）」であり、この3つから1名ずつ入閣することになっていた（渡辺 1964：192頁）。しかし、1960年代後半以降これらの議員集団は解体していき、衆議院派閥と参議院派閥の系列関係が明確化していく（佐藤・松崎 1986：242頁、待鳥 2001：70頁、待鳥 2002：74頁）。とはいえ、本稿の目的は55年体制の成立から現在までを一貫した視点で分析することであるため、参議院議員の派閥についても衆議院の各派閥に対応する同一派閥として一貫して捉えて、データを作成している。

10) 『朝日新聞』2007年9月25日朝刊1面。

11) 『朝日新聞』2009年9月30日朝刊1面、『朝日新聞』2012年12月26日朝刊1面。

12) 北岡 2008。たとえば、「権名裁定」がある。田中角栄退陣後の後継総裁選びにおいて、権名悦三郎副総裁が裁定にあたり、権名副総裁は三木武夫を後継総裁に指名している（北岡 2008：180-182頁、境家 2023：95頁）。

13) 竹中 2010：185-186頁。「従来自民党執行部には、参議院自民党からは参議院議員会長しか入っていなかった」（竹中 2010：185頁）。しかし、細川内閣における政治改革関連法案の否決には「参議院自民党」が大きな役割を果たした。そのおかげで自民党執行部に参議院自民党幹事長も加わるようになった（竹中 2010：185-186頁、政策研究大学院大学 C.O.E. オーラル・政策研究プロジェクト 2004：287頁）。

次に、データの作成方法について説明する。

(1) 自民党の派閥の変遷については、中北(2017)の情報を「新聞記事」(朝日新聞・読売新聞・毎日新聞のデータベース、以下同じ)に基づき加筆修正し最新版を作成している。(2) 首相、自民党総裁、官房長官、自民党役員(幹事長・総務会長・政務調査会長・選挙対策委員長・副総裁・参議院議員会長・参議院幹事長)については、佐藤・松崎(1986)と北岡(2008)を基盤データとして利用しつつ、自由民主党(2006)、『政官要覧』、「新聞記事」によって補充している。(3) 主流派の派閥や首相・自民党総裁・官房長官・自民党役員の所属派閥については、同じく佐藤・松崎(1986)と北岡(2008)を基盤データとして利用しつつ、『国会便覧』と「新聞記事」によって補充している。¹⁴⁾

4. データの検討

次の順番でデータを検討していく。すなわち、(1) 自民党の派閥の変遷、(2) 歴代首相・自民党総裁と所属派閥、(3) 主流派の派閥、(4) 歴代官房長官と所属派閥、(5) 歴代自民党四役(幹事長・総務会長・政務調査会長・選挙対策委員長)と所属派閥、¹⁵⁾(6) 歴代自民党副総裁と所属派閥、(7) 歴代自民党参議院議員会長・参議院幹事長と所属派閥という順番でデータを検討していく。

14) 所属派閥のデータについては、「どの資料がより正確か一概にいけないのであれば、選択の基準は分析の目的による」(境家・谷澤 2005: 129頁)と指摘されている。本稿の目的は通時的・網羅的データの整備であるため、その限りで有用と思われる『国会便覧』と「新聞記事」に依拠している。なぜなら、これらの資料は通時的という点でも網羅的という点でも条件を満たしているからである。

15) 谷垣禎一幹事長、遠藤利明選挙対策委員長・総務会長は「無派閥」ではあるけれども、役職者の属性データとしての便宜のため「谷垣グループ」所属ということを併記している。各派閥は所属議員の他派閥との掛け持ちを認めていないのに対し、「谷垣グループ」は「他派閥との掛け持ちが可能である」ことから「派閥」ではない(『朝日新聞』2022年1月20日朝刊4面、『毎日新聞』2023年6月8日朝刊5面、『朝日新聞』2023年8月23日朝刊4面)。

(1) 自民党の派閥の変遷

55年体制成立以降の自民党の派閥については、図2のように変遷してきた。当初「八個師団」と呼ばれた池田勇人、佐藤栄作、石井光次郎、大野伴睦、岸信介、河野一郎、石橋湛山、三木武夫・松村謙三を領袖とする派閥が形成された。1970年代には「三角大福中」（三木武夫、田中角栄、大平正芳、福田赳夫、中曽根康弘）と呼ばれる「五大派閥」へと集約された。しかし、1990年代後半には「五大派閥」において派閥の分裂が生じた。具体的には、渡辺派から山崎拓グループの離脱、三塚派から亀井静香グループの離脱、宮沢派から河野洋平グループの離脱が生じている。さらに、2000年には「加藤の乱」の結果、「加藤派」が2つに分裂している。もともと、派閥の合併・合流の動きも生じている。具体的には、1999年に渡辺派の残留組と亀井静香グループの合併、2017年に山東派の麻生派への合流が生じている¹⁶⁾。

(2) 歴代首相・自民党総裁と派閥

歴代首相・自民党総裁と所属派閥を検討していく（表2・表3参照）。検討の結果、次の4つの知見を得ることができる。

①派閥領袖クラス（派閥の領袖・代行・後継予定者）が基本的に「総理・総裁」となっている。

②派閥領袖クラスではない宇野宗佑・海部俊樹の「総理・総裁」就任は、「リクルート事件」¹⁷⁾による例外的現象である。

③小泉純一郎・安倍晋三・福田康夫の「総理・総裁」就任は、有力派閥であ

16) 中北 2017：第1章。

17) リクルート事件とは、就職情報企業のリクルートが値上がり確実の未公開株の譲渡などの形で政官財界に資金提供した事件のことである。値上がり確実な未公開株の譲渡、パーティ券の大量購入、巨額の政治献金によってリクルートから資金提供を受けていたのは、竹下登首相、安倍晋太郎幹事長、宮沢喜一蔵相、中曽根前首相などであり、派閥領袖クラスが軒並み含まれていた（星 2019：10-11頁、北岡 2008：264頁、境家 2023：147-148頁、薬師寺 2014：25頁）。多額の資金提供を受けていた竹下登首相は1989年4月25日退陣を表明する（星 2019：16頁、薬師寺 2014：25-26頁）。しかし、リクルート事件の結果、安倍晋太郎、宮沢喜一などの派閥領袖クラスが後継総裁に名乗りを上げることができない状況になった（薬師寺 2014：26頁、北岡 2008：265-266、269頁）。

る森派の幹部ということが重要であると思われる。

④菅義偉は無派閥の「総理・総裁」ではあるが、約8年間の官房長官としての実績は派閥領袖クラスに相当すると考えられる。

(3) 主流派の派閥

主流派の派閥を検討していく(表2・表3参照)。検討の結果、次の6つの知見を得ることができる。

①田中内閣において「金権政治批判」から福田派と三木派が主流派から離脱している¹⁸⁾。

②三木内閣において「三木おろし」¹⁹⁾が起き、福田派などが非主流派に回っている。

③宮沢内閣において「竹下派分裂」²⁰⁾が起き、主流派の最大派閥であった竹下派は主流派に留まる「小淵派」と非主流派となる「羽田派」に分かれた。

④森内閣において「加藤の乱」²¹⁾が起き、主流派の組み換えが生じている。

18) 田中角栄は1974年7月の参議院選挙において、「巨額の資金を使って派手にキャンペーンを行い、徹底した『企業ぐるみ選挙』を展開した」(境家 2023: 92頁)。「大企業に資金や運動員を提供させ、その関連企業の従業員や家族の票までフル動員したのである」(境家 2023: 92頁)。しかし、田中は選挙に敗北し自民党内での求心力を失う。金権政治に批判的であった三木武夫が副総理・環境庁長官を辞職し、福田赳夫も大蔵大臣を辞職したことにより、三木派と福田派が非主流派となった(北岡 2008: 175-176頁。境家 2023: 92頁)。

19) 1976年2月、ロッキード事件が表面化した。この事件はロッキード社が航空機の売り込みのために日本政府高官(田中角栄前首相など)へ贈賄した疑惑であった。三木首相は自民党内の根回しもなくロッキード事件の真相究明に向けて積極的に動き出した。この三木首相の対応に自民党内からは批判が噴出し、三木を退陣させる党内圧力が強まった。この倒閣運動を「三木おろし」と言う(北岡 2008: 191-193頁、境家 2023: 105-106頁)。

20) 1992年8月22日、東京佐川急便の渡辺広康前社長が金丸信(自民党副総裁・竹下派会長)に5億円のヤミ献金をしていたことが発覚した。8月27日、金丸は記者会見において5億円授受を認め、副総裁と竹下派会長の辞任を表明する。こうして、最大派閥竹下派の後継会長をめぐる争いが始まった。羽田孜を推す小沢一郎のグループと小淵恵三を推す反小沢のグループが対立する構図であった。小淵が後継会長に決定すると、小沢グループは羽田派を結成し、竹下派は小淵派と羽田派へと分裂した(星 2019: 35-37頁、菅原 2014: 108頁、北岡 2008: 292頁、境家 2023: 167頁)。

⑤小泉内閣において2003年9月の総裁選の対応をめぐって、橋本派が衆議院と参議院との間で分裂している。また、第2次安倍政権においても2018年9月の総裁選の対応をめぐり、竹下派が衆議院と参議院との間で分裂している。

⑥田中角栄退陣後から中曽根内閣までは田中派による「権力の二重構造」、竹下登退陣後から宮沢内閣までは竹下派による「権力の二重構造」、森喜朗退陣後から現在までは「森派→町村派→細田派→安倍派」による「権力の二重構造」となっている。

(4) 歴代官房長官と所属派閥

歴代官房長官と所属派閥を検討していく(表4参照)。検討の結果、基本的に官房長官は総裁派閥出身であり、政権中枢における側近の役割を果たしているという知見を得ることができる。

(5) 歴代自民党四役(幹事長・総務会長・政務調査会長・選挙対策委員長)と所属派閥

歴代自民党四役(幹事長・総務会長・政務調査会長・選挙対策委員長)と所属派閥について、幹事長、総務会長、政務調査会長、選挙対策委員長の順に検討していく。

第1に幹事長を検討していく(表5参照)。その結果、次の5つの知見を得ることができる。

- ①岸政権から田中政権までは総裁派閥から幹事長を出していた。
- ②三木政権成立時の椎名裁定(挙党一致を図るよう後継総裁を決めた椎名悦三郎自民党副総裁による裁定²¹⁾において「総幹分離」(幹事長を総裁派閥とは

21)「加藤の乱」とは、2000年11月に加藤派の加藤紘一と山崎派の山崎拓が森内閣の打倒に向けて野党提出の内閣不信任案への賛成を示唆して起こした乱のことである。加藤派と山崎派の衆議院議員数は合計で60名を超えており、全員が賛成すれば数の上では不信任案の可決が可能であった。しかし、野中広務幹事長ら自民党執行部は党の公認権を武器に加藤・山崎両派の切り崩しを行った。加藤派の多くの議員は腰砕けとなり内閣不信任案は否決され、加藤の乱は失敗した。その結果、加藤派は堀内派と加藤グループに分裂した(境家 2023: 200頁、葉師寺 2014: 113頁)。

22) 北岡 2008: 180-182、187頁。

別派閥から出すこと)が実施された。

③三木政権以降は大平政権と小泉政権を除いて「総幹分離」となっている。

④第1次大平内閣では総裁派閥から斎藤邦吉幹事長を出している。しかし総選挙敗北後から第2次大平内閣の組閣・党役員人事までの「約40日間」、自民党最大の派閥抗争である「40日抗争」²³⁾が起きた。その後、党内融和のために「総幹分離」が定着している。

⑤小泉政権では総裁派閥から幹事長を出している。これは小泉の盟友である山崎拓幹事長の女性スキャンダルが起き、安倍晋三を「総選挙の顔」にしたいという特異な状況のためと思われる。

第2に総務会長を検討していく(表6参照)。その結果、次の知見を得ることができる。総務会長は、必ずしも主流派からではなく、非主流派を取り込むポストとして使われる場合がある。その場合、派閥領袖クラスを起用している。

第3に政務調査会長を検討していく(表7参照)。その結果、次の知見を得ることができる。政務調査会長は、基本的に主流派が確保するポストである。しかし、2001年の小泉政権以降は、総裁との個人的関係および政策通か否かという観点から起用する傾向にある。

第4に選挙対策委員長を検討していく(表8参照)。その結果、次の知見を得ることができる。選挙対策委員長は、党内基盤を固めるために非主流派の派閥領袖を処遇するポストである。

(6) 歴代自民党副総裁と所属派閥

歴代自民党副総裁と所属派閥を検討していく(表9参照)。検討の結果、次の知見を得ることができる。副総裁は、党内基盤を固めるために主流派派閥(とくに中小派閥)の派閥領袖クラスを処遇するポストである。

(7) 歴代自民党参議院議員会長・参議院幹事長と所属派閥

歴代自民党参議院議員会長・参議院幹事長と所属派閥を検討していく(表

23) 升味 1985a : 310-314頁。

10・表11参照)。検討の結果、次の4つの知見を得ることができる。

①参議院議員会長は主流派が必ず確保するポストである。参議院議員会長は党所属の参議院議員の中から公選されることから、多数派である主流派が確保するためである²⁴⁾。

②参議院幹事長は基本的に主流派が確保するポストではある。しかし、常というわけではない。これは参議院幹事長が参議院議員会長によって指名されるポストであり、派閥間の勢力バランスを調整した結果であると思われる²⁵⁾。

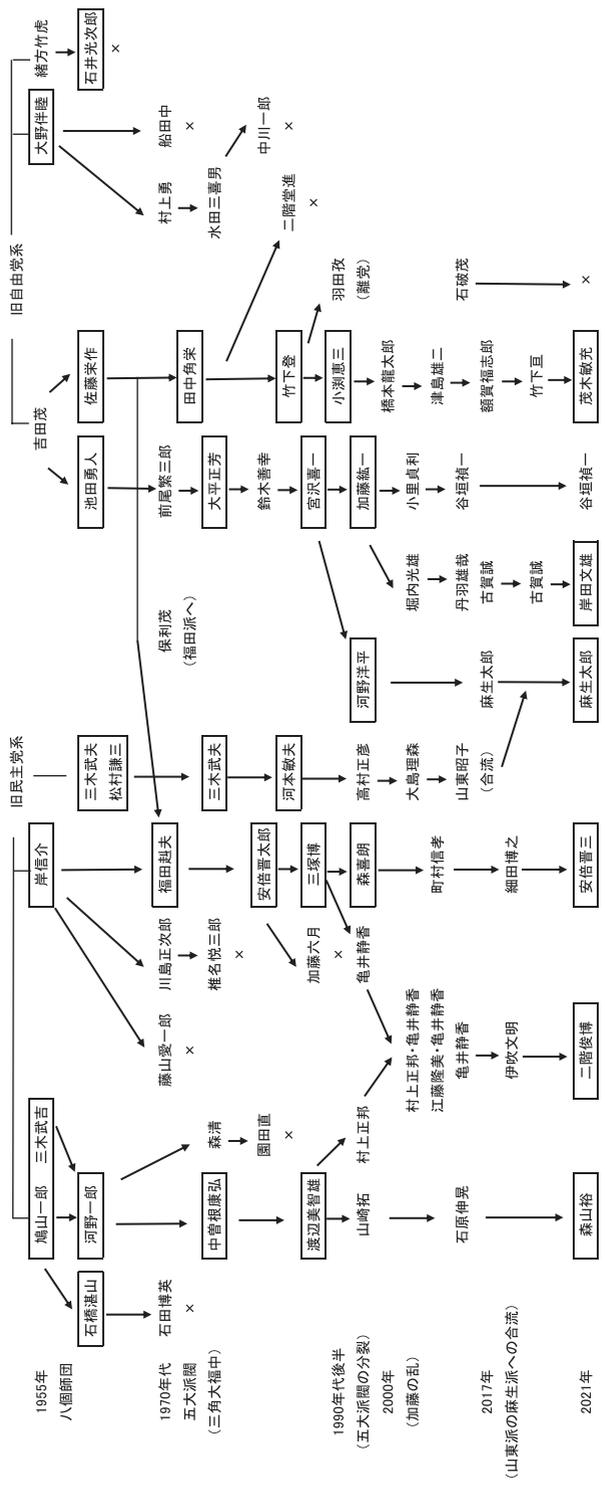
③参議院議員会長と参議院幹事長の所属派閥は基本的に異なっている。派閥間の勢力バランスを調整した結果と思われる。しかし、例外的に2001～2007年にかけて、「橋本派（2001-2004）とその後継の津島派（2004-2007）」が両ポストを独占している。

④参議院議員会長と参議院幹事長は、伝統的に「佐藤→田中→竹下（登）→小淵→橋本→津島→竹下（亘）→茂木」系派閥が強いポストである。

24) 参議院議員会長の選出は、「参議院自由民主党議員会則」において、次のように規定されている（自由民主党 2006）。参議院自民党は「党所属の参議院議員をもって構成」（第1条）され、「役員として、会長、幹事長、政策審議会長、国会対策委員長を置く」（第8条1項）。重要な役員の選任は特別総会において審議決定する（第6条1項）。特別総会は過半数の出席をもって成立し、出席者の過半数で決する（第6条2項）。そのうえで、参議院議員会長は特別総会において選出されることになっている（第8条3項）。

25) 参議院幹事長については、「参議院自由民主党議員会則」において、「幹事長、政策審議会長、国会対策委員長は、会長の推薦により、特別総会の承認を得て決定する」（第9条2項）と規定されている（自由民主党 2006）。

図2 自民党の派閥の変遷



注1：×は「派閥の消滅」を意味する。
 注2：□は派閥の変遷において重要な人物であることを意味する。
 出典：中北（2017）19、26頁の情報を「新聞記事」に基づき加筆修正。

表2 歴代首相

首相名	首相内閣	在職期間	在職日数	連続在職日数	政治党派	政權交替経緯	首相の派閥
鳩山一郎(第1次)	1955/11/22~1956/12/23	398日			自民党	鳩山派、橋方派、大野派、岸派、三木(武吉)派(河野派)	首相の派閥
片岡重光(第1次)	1956/12/23~1957/02/25	65日		65日	自民党	石橋派、池田派、大野派、石井派、三木-松村派	鳩山派
岸信介(第1次-改選)	1957/02/25~1957/07/10	473日			自民党	岸派、佐藤派、河野派、大野派	岸派
岸信介(第1次-改選)	1957/07/10~1958/06/12	769日		124日	自民党	岸派、佐藤派、河野派、大野派	岸派
岸信介(第2次-改選)	1958/06/12~1959/07/19	143日			自民党	岸派、佐藤派、河野派、大野派	岸派
池田勇人(第1次)	1960/07/19~1960/12/20	143日			自民党	池田派、佐藤派、岸派	岸派
池田勇人(第2次-改選)	1960/12/20~1961/07/18	169日			自民党	池田派、大野派、川島派、河野派、三木-松村派	池田派
池田勇人(第2次-改選)	1961/07/18~1962/07/18	1097日		1575日	自民党	池田派、大野派、川島派、河野派、三木-松村派	池田派
池田勇人(第2次-改選)	1962/07/18~1963/07/18	1097日		1575日	自民党	池田派、大野派、川島派、河野派、三木-松村派	池田派
池田勇人(第2次-改選)	1963/07/18~1964/03/20	337日			自民党	池田派、大野派、川島派、河野派、三木-松村派	池田派
池田勇人(第2次-改選)	1964/03/20~1964/07/18	337日			自民党	池田派、大野派、川島派、河野派、三木-松村派	池田派
池田勇人(第2次-改選)	1964/07/18~1964/11/09	337日			自民党	池田派、大野派、川島派、河野派、三木-松村派	池田派
佐藤栄作(第1次)	1964/11/09~1965/06/03	83日			自民党	佐藤派、船田派、村上派、石井派、福田派、川島派、幹派、三木派	佐藤派
佐藤栄作(第1次-改選)	1965/06/03~1966/08/01	83日			自民党	佐藤派、船田派、村上派、石井派、福田派、川島派、幹派、三木派	佐藤派
佐藤栄作(第1次-改選)	1966/08/01~1966/12/03	83日			自民党	佐藤派、船田派、村上派、石井派、福田派、川島派、幹派、三木派	佐藤派
佐藤栄作(第1次-改選)	1966/12/03~1967/02/17	83日			自民党	佐藤派、船田派、村上派、石井派、福田派、川島派、幹派、三木派	佐藤派
佐藤栄作(第2次-改選)	1967/02/17~1968/11/25	1063日		2798日	自民党	佐藤派、船田派、石井派、福田派、川島派、菊多派、團田派	佐藤派
佐藤栄作(第2次-改選)	1968/11/25~1968/11/30	1063日			自民党	佐藤派、船田派、石井派、福田派、川島派、菊多派、團田派	佐藤派
佐藤栄作(第2次-改選)	1968/11/30~1970/01/14	1063日			自民党	佐藤派、船田派、石井派、福田派、川島派、菊多派、團田派	佐藤派
佐藤栄作(第2次-改選)	1970/01/14~1971/07/05	906日			自民党	佐藤派、前原派、船田派、村上派、石井派、福田派、川島派、中曾根派、團田派	佐藤派
佐藤栄作(第2次-改選)	1971/07/05~1972/04/22	169日			自民党	佐藤派、前原派、船田派、村上派、石井派、福田派、川島派、中曾根派、團田派	佐藤派
田中角栄(第1次)	1972/07/07~1974/11/11	718日		886日	自民党	田中派、大平派、船田派、水田派、石井派、権名派、藤山派、中曾根派、船田派、三木派	田中派
田中角栄(第2次-改選)	1974/11/11~1974/11/11	718日		886日	自民党	田中派、大平派、船田派、水田派、石井派、権名派、藤山派、中曾根派、船田派、三木派	田中派
田中角栄(第2次-改選)	1974/11/11~1974/11/11	718日		886日	自民党	田中派、大平派、船田派、水田派、石井派、権名派、藤山派、中曾根派、船田派、三木派	田中派
田中角栄(第2次-改選)	1974/11/11~1974/11/11	718日		886日	自民党	田中派、大平派、船田派、水田派、石井派、権名派、藤山派、中曾根派、船田派、三木派	田中派
三木武夫	1974/11/25~1976/02/09	747日		747日	自民党	田中派、大平派、船田派、水田派、石井派、権名派、藤山派、中曾根派、船田派、三木派	三木派
福田赳夫	1976/02/09~1976/12/24	71日		71日	自民党	田中派、大平派、船田派、水田派、石井派、権名派、藤山派、中曾根派、船田派、三木派	福田派
福田赳夫	1976/12/24~1977/11/28	338日		338日	自民党	田中派、大平派、船田派、水田派、石井派、権名派、藤山派、中曾根派、船田派、三木派	福田派
大平正芳(第1次)	1977/11/28~1978/1/20	217日		217日	自民党	田中派、大平派、船田派、水田派、石井派、権名派、藤山派、中曾根派、船田派、三木派	大平派
大平正芳(第2次)	1978/1/20~1979/11/06	361日		361日	自民党	田中派、大平派、船田派、水田派、石井派、権名派、藤山派、中曾根派、船田派、三木派	大平派
(臨時代理)伊藤正徳	1979/11/06~1980/06/12	361日		361日	自民党	田中派、大平派、船田派、水田派、石井派、権名派、藤山派、中曾根派、船田派、三木派	大平派
藤不審軒	1980/06/12~1980/07/17	36日		36日	自民党	田中派、大平派、船田派、水田派、石井派、権名派、藤山派、中曾根派、船田派、三木派	大平派
藤不審軒	1980/07/17~1981/11/30	864日		864日	自民党	田中派、大平派、船田派、水田派、石井派、権名派、藤山派、中曾根派、船田派、三木派	大平派
中曾根康弘(第1次)	1981/11/30~1982/11/27	396日		396日	自民党	田中派、大平派、船田派、水田派、石井派、権名派、藤山派、中曾根派、船田派、三木派	中曾根派
中曾根康弘(第2次)	1982/11/27~1983/12/27	939日		1806日	自民党+新自由クラブ	田中派、大平派、船田派、水田派、石井派、権名派、藤山派、中曾根派、船田派、三木派	中曾根派
中曾根康弘(第2次-改選)	1984/1/01~1985/12/28	939日		1806日	自民党+新自由クラブ	田中派、大平派、船田派、水田派、石井派、権名派、藤山派、中曾根派、船田派、三木派	中曾根派
中曾根康弘(第2次-改選)	1985/12/28~1986/07/22	475日		475日	自民党+新自由クラブ	田中派、大平派、船田派、水田派、石井派、権名派、藤山派、中曾根派、船田派、三木派	中曾根派
中曾根康弘(第2次-改選)	1986/07/22~1987/11/06	475日		475日	自民党+新自由クラブ→1986年8月15日解党	田中派、大平派、船田派、水田派、石井派、権名派、藤山派、中曾根派、船田派、三木派	中曾根派
竹下登	1987/11/06~1988/12/27	576日		576日	自民党	田中派、大平派、船田派、水田派、石井派、権名派、藤山派、中曾根派、船田派、三木派	竹下派
竹下登(改選)	1988/12/27~1989/06/03	69日		69日	自民党	田中派、大平派、船田派、水田派、石井派、権名派、藤山派、中曾根派、船田派、三木派	竹下派
宇野浩二	1989/06/03~1989/08/10	203日		203日	自民党	田中派、大平派、船田派、水田派、石井派、権名派、藤山派、中曾根派、船田派、三木派	中曾根派
海部俊樹(第1次)	1989/08/10~1990/02/28	616日		616日	自民党	田中派、大平派、船田派、水田派、石井派、権名派、藤山派、中曾根派、船田派、三木派	海部派
海部俊樹(第2次)	1990/02/28~1990/12/29	616日		616日	自民党	田中派、大平派、船田派、水田派、石井派、権名派、藤山派、中曾根派、船田派、三木派	海部派
海部俊樹(第2次-改選)	1990/12/29~1991/11/05	644日		644日	自民党	田中派、大平派、船田派、水田派、石井派、権名派、藤山派、中曾根派、船田派、三木派	海部派
宮沢喜一	1991/11/05~1992/12/12	644日		644日	自民党	田中派、大平派、船田派、水田派、石井派、権名派、藤山派、中曾根派、船田派、三木派	宮沢派
宮沢喜一(改選)	1992/12/12~1993/08/09	644日		644日	自民党	田中派、大平派、船田派、水田派、石井派、権名派、藤山派、中曾根派、船田派、三木派	宮沢派

首相上内閣	在職期間	在職日数	東経在職日数	政權政党	政権主要派	首相の派閥
福田康雄	1993/08/09(～)～1994/04/28	263日	263日	社会党・新党さきがけ・公明党・日本新党・民社党・国民新党・自由党	日本新党・新党さきがけ・公明党	日本新党
細田武	1994/04/28(～)～1994/06/20	61日	61日	新党さきがけ	新党さきがけ	新党さきがけ
村山富市	1994/06/20(～)～1995/08/08	65日	65日	自民党・社会党・新党さきがけ	社会党・新党さきがけ	社会党
村山富市(改選)	1995/08/08(～)～1996/01/17	61日	61日	自民党・社会党・新党さきがけ	社会党・新党さきがけ	社会党
橋本龍太郎(第1次)	1996/01/17(～)～1996/11/10	302日	302日	自民党・社会党・新党さきがけ	自民党・社会党・新党さきがけ	小派系
橋本龍太郎(第2次)	1996/11/10(～)～1998/07/30	631日	631日	自民党・社会党・新党さきがけ	自民党・社会党・新党さきがけ	小派系
橋本龍太郎(第3次)	1998/07/30(～)～1999/01/14	61日	61日	自民党・社会党・新党さきがけ	自民党・社会党・新党さきがけ	小派系
小淵善三(第1次)	1999/01/14(～)～1999/10/05	61日	61日	自民党・社会党・新党さきがけ	自民党・社会党・新党さきがけ	小派系
小淵善三(第2次)	1999/10/05(～)～2000/04/05	91日	91日	自民党・社会党・新党さきがけ	自民党・社会党・新党さきがけ	小派系
森喜朗(第1次)	2000/04/05(～)～2000/07/04	200日	200日	自民党・社会党・新党さきがけ	自民党・社会党・新党さきがけ	森派
森喜朗(第2次)	2000/07/04(～)～2001/01/20	297日	297日	自民党・社会党・新党さきがけ	自民党・社会党・新党さきがけ	森派
森喜朗(第3次)	2001/01/20(～)～2001/10/26	297日	297日	自民党・社会党・新党さきがけ	自民党・社会党・新党さきがけ	森派
森喜朗(第4次)	2001/10/26(～)～2002/09/30	368日	368日	自民党・社会党・新党さきがけ	自民党・社会党・新党さきがけ	森派
小泉純一郎(第1次)	2002/09/30(～)～2003/09/22	368日	368日	自民党・社会党・新党さきがけ	自民党・社会党・新党さきがけ	森派
小泉純一郎(第2次)	2003/09/22(～)～2003/11/19	97日	97日	自民党・社会党・新党さきがけ	自民党・社会党・新党さきがけ	森派
小泉純一郎(第3次)	2003/11/19(～)～2004/09/27	673日	673日	自民党・社会党・新党さきがけ	自民党・社会党・新党さきがけ	森派
小泉純一郎(第4次)	2004/09/27(～)～2005/09/21	371日	371日	自民党・社会党・新党さきがけ	自民党・社会党・新党さきがけ	森派
小泉純一郎(第5次)	2005/09/21(～)～2005/10/31	41日	41日	自民党・社会党・新党さきがけ	自民党・社会党・新党さきがけ	森派
安倍晋三(第1次)	2006/09/26(～)～2007/08/27	366日	366日	自民党・社会党・新党さきがけ	自民党・社会党・新党さきがけ	森派
安倍晋三(第2次)	2007/08/27(～)～2007/09/25	29日	29日	自民党・社会党・新党さきがけ	自民党・社会党・新党さきがけ	森派
福田康夫	2007/09/25(～)～2008/08/02	363日	363日	自民党・社会党・新党さきがけ	自民党・社会党・新党さきがけ	森派
福田康夫(改選)	2008/08/02(～)～2008/09/24	53日	53日	自民党・社会党・新党さきがけ	自民党・社会党・新党さきがけ	森派
福田康夫(改選)	2008/09/24(～)～2009/09/16	358日	358日	自民党・社会党・新党さきがけ	自民党・社会党・新党さきがけ	森派
福田康夫(改選)	2009/09/16(～)～2010/06/08	266日	266日	自民党・社会党・新党さきがけ	自民党・社会党・新党さきがけ	森派
菅直人	2010/06/08(～)～2010/09/17	45日	45日	民主党・国民新党	民主党・国民新党	菅直人
菅直人(改選)	2010/09/17(～)～2011/01/11	115日	115日	民主党・国民新党	民主党・国民新党	菅直人
菅直人(改選)	2011/01/11(～)～2011/09/02	282日	282日	民主党・国民新党	民主党・国民新党	菅直人
野田佳彦	2011/09/02(～)～2012/01/13	48日	48日	民主党・国民新党	民主党・国民新党	菅直人
野田佳彦(改選)	2012/01/13(～)～2012/06/04	48日	48日	民主党・国民新党	民主党・国民新党	菅直人
野田佳彦(改選)	2012/06/04(～)～2012/10/01	107日	107日	民主党・国民新党	民主党・国民新党	菅直人
野田佳彦(改選)	2012/10/01(～)～2012/12/26	96日	96日	民主党・国民新党	民主党・国民新党	菅直人
安倍晋三(第3次)	2012/12/26(～)～2014/09/03	729日	729日	自民党・社会党・新党さきがけ	自民党・社会党・新党さきがけ	菅直人
安倍晋三(第3次)	2014/09/03(～)～2014/12/21	110日	110日	自民党・社会党・新党さきがけ	自民党・社会党・新党さきがけ	菅直人
安倍晋三(第3次)	2014/12/21(～)～2015/10/07	104日	104日	自民党・社会党・新党さきがけ	自民党・社会党・新党さきがけ	菅直人
安倍晋三(第3次)	2015/10/07(～)～2016/08/03	104日	104日	自民党・社会党・新党さきがけ	自民党・社会党・新党さきがけ	菅直人
安倍晋三(第3次)	2016/08/03(～)～2017/08/03	104日	104日	自民党・社会党・新党さきがけ	自民党・社会党・新党さきがけ	菅直人
安倍晋三(第3次)	2017/08/03(～)～2017/11/01	107日	107日	自民党・社会党・新党さきがけ	自民党・社会党・新党さきがけ	菅直人
安倍晋三(第3次)	2017/11/01(～)～2018/10/02	107日	107日	自民党・社会党・新党さきがけ	自民党・社会党・新党さきがけ	菅直人
安倍晋三(第3次)	2018/10/02(～)～2019/09/11	107日	107日	自民党・社会党・新党さきがけ	自民党・社会党・新党さきがけ	菅直人
安倍晋三(第3次)	2019/09/11(～)～2020/06/16	107日	107日	自民党・社会党・新党さきがけ	自民党・社会党・新党さきがけ	菅直人
菅義偉	2020/06/16(～)～2021/11/04	384日	384日	自民党・社会党・新党さきがけ	自民党・社会党・新党さきがけ	菅義偉
菅義偉(第1次)	2021/11/04(～)～2022/08/10	384日	384日	自民党・社会党・新党さきがけ	自民党・社会党・新党さきがけ	菅義偉
菅義偉(第2次)	2022/08/10(～)～2023/09/14	107日	107日	自民党・社会党・新党さきがけ	自民党・社会党・新党さきがけ	菅義偉
菅義偉(第2次)	2023/09/14(～)～	—	—	自民党・社会党・新党さきがけ	自民党・社会党・新党さきがけ	菅義偉

注：下線は自民党総裁の派閥を示す。以下同様である。

出典：佐藤・松崎(1986)、北岡(2008)、『自由民主党五十年史』、『政官要覧』、『国会便覧』、『新聞記事』より作成。

表3 歴代自民党総裁

首相内閣	在職期間	自民党総裁	在職期間	在職日数	総裁の派閥
鳩山一郎(第3次)	1955/1/122~1956/6/12/23	鳩山一郎	1956/04/05~1956/01/20/14	254日	鳩山派
石橋山三	1956/1/22/23~1957/02/25	石橋山三	1956/12/14~1957/03/21	98日	石橋派
岸信介(第1次)	1957/02/25~1957/07/10	岸信介	1957/03/21~1960/07/14	1212日	岸派
岸信介(第2次)	1957/07/10~1958/06/12				
岸信介(第3次)	1958/06/12~1958/06/18				
岸信介(第4次)	1959/06/18~1960/07/19				
池田勇人(第1次)	1960/07/19~1960/12/08				
池田勇人(第2次)	1960/12/08~1961/07/18				
池田勇人(第3次)	1961/07/18~1962/07/18				
池田勇人(第4次)	1962/07/18~1963/07/18	池田勇人	1960/07/14~1961/07/20/1	1602日	池田派
池田勇人(第5次)	1963/07/18~1964/07/18				
池田勇人(第6次)	1964/07/18~1964/11/09				
佐藤栄作(第1次)	1964/11/09~1965/06/03				
佐藤栄作(第2次)	1965/06/03~1966/08/01				
佐藤栄作(第3次)	1966/08/01~1966/12/03				
佐藤栄作(第4次)	1966/12/03~1967/02/17				
佐藤栄作(第5次)	1967/02/17~1967/11/25	佐藤栄作	1964/12/01~1972/07/05	2774日	佐藤派
佐藤栄作(第6次)	1967/11/25~1968/11/20				
佐藤栄作(第7次)	1968/11/20~1970/01/14				
佐藤栄作(第8次)	1970/01/14~1970/07/07				
田中角栄(第1次)	1970/07/07~1972/12/22				
田中角栄(第2次)	1972/12/22~1973/11/25				
田中角栄(第3次)	1973/11/25~1974/11/11	田中角栄	1972/07/05~1974/12/04	883日	田中派
田中角栄(第4次)	1974/11/11~1974/12/09				
三木武夫(第1次)	1974/12/09~1976/09/15				
三木武夫(第2次)	1976/09/15~1976/12/24	三木武夫	1974/12/04~1976/12/23	751日	三木派
福田赳夫	1976/12/24~1977/11/28				
福田赳夫(第2次)	1977/11/28~1978/12/07	福田赳夫	1976/12/23~1978/12/01	709日	福田派
大平正芳(第1次)	1978/12/07~1979/11/09				
大平正芳(第2次)	1979/11/09~1980/06/12	大平正芳	1978/12/01~1980/06/12	560日	大平派
(臨時代理)伊東正義	1980/06/12~1980/07/17	(代行)野村武一	1980/06/12~1980/07/15	34日	
鈴木善幸(第1次)	1980/07/17~1981/11/30	鈴木善幸	1980/07/15~1982/11/25	864日	田中派
鈴木善幸(第2次)	1981/11/30~1982/11/27				
中曾根康弘(第1次)	1982/11/27~1983/12/27				
中曾根康弘(第2次)	1983/12/27~1984/11/01	中曾根康弘	1982/11/25~1987/10/31	1802日	中曾根派
中曾根康弘(第3次)	1984/11/01~1985/12/28				
中曾根康弘(第4次)	1985/12/28~1986/07/22				
中曾根康弘(第5次)	1986/07/22~1987/11/06				
竹下登(第1次)	1987/11/06~1989/02/27	竹下登	1987/10/31~1989/06/02	581日	竹下派
竹下登(第2次)	1989/02/27~1989/08/10	宇野浩祐	1989/06/02~1989/08/08	68日	中曾根派
海部俊樹(第1次)	1989/08/10~1990/02/28				
海部俊樹(第2次)	1990/02/28~1991/11/03	海部俊樹	1989/08/08~1991/10/30	814日	河本派
海部俊樹(第3次)	1991/11/03~1992/11/05				
宮沢喜一(第1次)	1992/11/05~1992/12/12	宮沢喜一	1991/10/31~1993/07/30	639日	宮沢派
宮沢喜一(第2次)	1992/12/12~1993/08/09				

種名・学名	登録種別	登録期間	自治体組織	在籍期間	在籍日数	自然生状態	観察の履歴
川田麗彦	1952/08/03～1954/04/28					宮沢派	
羽田文雄	1954/04/28～1954/06/30		河野淳平	1953/07/30～1955/04/30	703日	宮沢派、三塚派、小沢派、河本派	宮沢派
中山重市	1954/06/30～1955/08/08					宮沢派、三塚派、小沢派、河本派	
山田重市	1955/08/08～1956/01/11					宮沢派、三塚派、小沢派、河本派	
榎本大直(第1次)	1956/01/11～1956/11/07					小沢派、旧澤辺派、宮沢派、河本派	小沢派
榎本大直(第2次)	1957/08/11～1958/07/30		榎本大直	1955/10/01～1958/07/24	1028日	小沢派、旧澤辺派、宮沢派、河本派	
榎本大直(第2次・改選)	1957/08/11～1958/07/30					小沢派、旧澤辺派、宮沢派、河本派	
小澤三三	1958/07/30～1959/01/14		小澤三三	1958/07/24～2000/04/05	6222日	小沢派、旧澤辺派、宮沢派、河本派、三塚派	小沢派
小澤三三(第2次・改選)	1959/01/14～1959/10/05					小沢派、旧澤辺派、宮沢派、河本派、三塚派	
藤澤誠(第1次)	1959/10/05～2000/04/05		藤澤誠	2000/04/05～2001/04/24	385日	藤澤派、山崎派、亀井派、森派、河野グループ、旧河本派	藤澤派
藤澤誠(第2次)	2000/04/05～2001/07/04					藤澤派、山崎派、亀井派、森派、河野グループ、旧河本派	
藤澤誠(第2次・改選(竹村再帰後))	2001/07/04～2001/10/26					藤澤派、山崎派、亀井派、森派、河野グループ、旧河本派	
小泉純一郎(第1次)	2001/10/26～2002/03/30					藤澤派、山崎派、亀井派、森派、河野グループ、旧河本派	
小泉純一郎(第1次・第2次・改選)	2002/03/30～2003/03/22		小泉純一郎	2001/04/24～2006/09/30	1986日	藤澤派、山崎派、亀井派、森派、河野グループ、旧河本派	藤澤派
小泉純一郎(第2次)	2003/03/22～2003/11/19					藤澤派、山崎派、亀井派、森派、河野グループ、旧河本派	
小泉純一郎(第2次・改選)	2003/11/19～2004/09/27					藤澤派、山崎派、亀井派、森派、河野グループ、旧河本派	
小泉純一郎(第3次)	2005/09/27～2005/10/31					藤澤派、山崎派、亀井派、森派、河野グループ、旧河本派	
小泉純一郎(第3次・改選)	2005/10/31～2006/09/26					藤澤派、山崎派、亀井派、森派、河野グループ、旧河本派	
安倍晋三(第1次)	2006/09/26～2007/08/27		安倍晋三	2006/10/01～2007/09/23	358日	藤澤派、山崎派、亀井派、森派、河野グループ、旧河本派	藤澤派
安倍晋三(第1次・改選)	2007/08/27～2007/09/26					藤澤派、山崎派、亀井派、森派、河野グループ、旧河本派	
福田康夫	2007/09/26～2008/08/02		福田康夫	2007/09/23～2008/09/22	366日	藤澤派、山崎派、亀井派、森派、河野グループ、旧河本派	藤澤派
福田康夫(改選)	2008/08/02～2009/09/16		藤生太郎	2008/09/22～2009/09/30	374日	藤澤派、山崎派、亀井派、森派、河野グループ、旧河本派	藤澤派
藤生太郎	2009/09/16～2010/06/08					藤澤派、山崎派、亀井派、森派、河野グループ、旧河本派	藤澤派
知山由紀夫	2010/06/08～2010/09/17					藤澤派、山崎派、亀井派、森派、河野グループ、旧河本派	藤澤派
菅直人(改選)	2010/09/17～2011/01/14					藤澤派、山崎派、亀井派、森派、河野グループ、旧河本派	藤澤派
菅直人(第2次・改選)	2011/01/14～2011/08/02					藤澤派、山崎派、亀井派、森派、河野グループ、旧河本派	藤澤派
野田佳彦	2011/08/02～2012/07/13		谷根一	2009/10/01～2012/09/30	1066日	藤澤派、山崎派、亀井派、森派、河野グループ、旧河本派	藤澤派
野田佳彦(改選)	2012/07/13～2012/06/04					藤澤派、山崎派、亀井派、森派、河野グループ、旧河本派	藤澤派
野田佳彦(第2次・改選)	2012/06/04～2012/12/26					藤澤派、山崎派、亀井派、森派、河野グループ、旧河本派	藤澤派
野田佳彦(第2次・改選)	2012/12/26～2013/09/03					藤澤派、山崎派、亀井派、森派、河野グループ、旧河本派	藤澤派
安倍晋三(第2次)	2013/09/03～2014/7/12/4					藤澤派、山崎派、亀井派、森派、河野グループ、旧河本派	藤澤派
安倍晋三(第3次)	2014/7/12/4～2015/10/07					藤澤派、山崎派、亀井派、森派、河野グループ、旧河本派	藤澤派
安倍晋三(第3次・改選)	2015/10/07～2016/08/03		安倍晋三	2012/10/01～2022/09/14	2906日	藤澤派、山崎派、亀井派、森派、河野グループ、旧河本派	藤澤派
安倍晋三(第3次・改選)	2016/08/03～2017/08/03					藤澤派、山崎派、亀井派、森派、河野グループ、旧河本派	藤澤派
安倍晋三(第3次・改選)	2017/08/03～2017/11/01					藤澤派、山崎派、亀井派、森派、河野グループ、旧河本派	藤澤派
安倍晋三(第4次)	2017/11/01～2018/10/09					藤澤派、山崎派、亀井派、森派、河野グループ、旧河本派	藤澤派
安倍晋三(第4次・改選)	2018/10/09～2019/09/16					藤澤派、山崎派、亀井派、森派、河野グループ、旧河本派	藤澤派
安倍晋三(第4次・改選)	2019/09/16～2020/09/14		菅義偉	2020/09/14～2021/09/30	352日	藤澤派、山崎派、亀井派、森派、河野グループ、旧河本派	藤澤派
菅義偉	2020/09/14～2021/10/04					藤澤派、山崎派、亀井派、森派、河野グループ、旧河本派	藤澤派
岸田文雄(第1次)	2021/10/04～2021/11/10		岸田文雄	2021/10/01～	-	藤澤派、山崎派、亀井派、森派、河野グループ、旧河本派	藤澤派
岸田文雄(第2次)	2022/11/10～2022/08/10					藤澤派、山崎派、亀井派、森派、河野グループ、旧河本派	藤澤派
岸田文雄(第2次・改選)	2022/08/10～2023/09/14					藤澤派、山崎派、亀井派、森派、河野グループ、旧河本派	藤澤派
岸田文雄(第2次・第2次・改選)	2023/09/14～					藤澤派、山崎派、亀井派、森派、河野グループ、旧河本派	藤澤派

出典：表2と同氏。

表4 歴代官房長官

有期七任期	在職期間	官房長官	在職期間	在職日数	政務状況	政務担当の派閥
橋本(第3次)	1955/11/22～1956/01/23	橋本 龍太郎	1955/11/22～1956/01/23	366日	自民党	池田派、林有造、大野茂、岩城、三木(自由派)、河野野、河野派
石橋(第1次)	1956/01/23～1957/07/10	石田 博次	1956/01/23～1957/07/10	200日	自民党	石橋派、池田派、大野茂、河野派、三木(自由派)、三木(保守派)
橋本(第2次)	1957/07/25～1957/07/31	藤田 隆一	1957/07/25～1957/07/31	388日	自民党	藤田派、大野茂、河野派、大野派
池田(第1次・改選)	1957/07/31～1958/06/12	藤田 隆一	1957/07/31～1958/06/12	372日	自民党	藤田派、大野茂、河野派、大野派
池田(第2次・改選)	1958/06/12～1959/06/18	森島 繁雄	1958/06/12～1959/06/18	398日	自民党	藤田派、大野茂、河野派、大野派
池田(第3次・改選)	1959/06/18～1960/07/19	梶谷 悦三郎	1959/06/18～1960/07/19	398日	自民党	藤田派、大野茂、河野派、大野派
池田(第4次・改選)	1960/07/19～1961/07/18	大平 正芳	1960/07/19～1961/07/18	730日	自民党	池田派、大野茂、河野派、三木(保守派)
池田(第5次・改選)	1961/07/18～1962/07/18	大平 正芳	1961/07/18～1962/07/18	730日	自民党	池田派、大野茂、河野派、三木(保守派)
池田(第6次・改選)	1962/07/18～1963/07/18	黒金 義美	1962/07/18～1963/07/18	732日	自民党	池田派、大野茂、河野派、三木(保守派)
池田(第7次・改選)	1963/07/18～1963/12/29	池田 正久	1963/07/18～1963/12/29	115日	自民党	池田派、大野茂、河野派、三木(保守派)
池田(第8次・改選)	1964/01/19～1964/11/09	池田 正久	1964/01/19～1964/11/09	631日	自民党	池田派、大野茂、河野派、三木(保守派)
池田(第9次・改選)	1964/11/09～1966/08/01	池田 正久	1964/11/09～1966/08/01	631日	自民党	池田派、大野茂、河野派、三木(保守派)
池田(第10次・改選)	1966/08/01～1966/12/03	藤田 隆一	1966/08/01～1966/12/03	125日	自民党	池田派、大野茂、河野派、三木(保守派)
池田(第11次・改選)	1966/12/03～1967/06/22	藤田 隆一	1966/12/03～1967/06/22	202日	自民党	池田派、大野茂、河野派、三木(保守派)
池田(第12次・改選)	1967/06/22～1968/11/30	木村 敏夫	1967/06/22～1968/11/30	528日	自民党	池田派、大野茂、河野派、三木(保守派)
池田(第13次・改選)	1968/11/30～1970/01/14	保利 茂	1968/11/30～1970/01/14	948日	自民党	池田派、大野茂、河野派、三木(保守派)
池田(第14次・改選)	1970/01/14～1972/07/07	竹下 登	1970/01/14～1972/07/07	369日	自民党	池田派、大野茂、河野派、三木(保守派)
池田(第15次・改選)	1972/07/07～1973/11/25	二階堂 遼	1972/07/07～1973/11/25	858日	自民党	池田派、大野茂、河野派、三木(保守派)
池田(第16次・改選)	1973/11/25～1974/11/11	竹下 登	1973/11/25～1974/11/11	29日	自民党	池田派、大野茂、河野派、三木(保守派)
池田(第17次・改選)	1974/11/11～1974/12/24	井出 一太郎	1974/11/11～1974/12/24	747日	自民党	池田派、大野茂、河野派、三木(保守派)
池田(第18次・改選)	1974/12/24～1977/11/28	田田 重	1974/12/24～1977/11/28	340日	自民党	池田派、大野茂、河野派、三木(保守派)
池田(第19次・改選)	1977/11/28～1978/12/07	安佐 晋太郎	1977/11/28～1978/12/07	375日	自民党	池田派、大野茂、河野派、三木(保守派)
池田(第20次・改選)	1978/12/07～1979/11/09	田中 六郎	1978/12/07～1979/11/09	338日	自民党	池田派、大野茂、河野派、三木(保守派)
池田(第21次・改選)	1979/11/09～1980/06/12	伊藤 正義	1979/11/09～1980/06/12	232日	自民党	池田派、大野茂、河野派、三木(保守派)
池田(第22次・改選)	1980/06/12～1980/07/17	伊藤 正義	1980/06/12～1980/07/17	262日	自民党	池田派、大野茂、河野派、三木(保守派)
池田(第23次・改選)	1980/07/17～1981/11/30	宮沢 喜一	1980/07/17～1981/11/30	864日	自民党	池田派、大野茂、河野派、三木(保守派)
池田(第24次・改選)	1981/11/30～1982/11/27	後藤田 正晴	1981/11/30～1982/11/27	366日	自民党	池田派、大野茂、河野派、三木(保守派)
池田(第25次・改選)	1982/11/27～1983/12/27	後藤田 正晴	1982/11/27～1983/12/27	366日	自民党	池田派、大野茂、河野派、三木(保守派)
池田(第26次・改選)	1983/12/27～1984/11/01	藤波 孝生	1983/12/27～1984/11/01	733日	自民党	池田派、大野茂、河野派、三木(保守派)
池田(第27次・改選)	1984/11/01～1985/01/23	藤波 孝生	1984/11/01～1985/01/23	73日	自民党	池田派、大野茂、河野派、三木(保守派)
池田(第28次・改選)	1985/01/23～1987/07/22	後藤田 正晴	1985/01/23～1987/07/22	679日	自民党	池田派、大野茂、河野派、三木(保守派)
池田(第29次・改選)	1987/07/22～1987/11/06	後藤田 正晴	1987/07/22～1987/11/06	576日	自民党	池田派、大野茂、河野派、三木(保守派)
池田(第30次・改選)	1987/11/06～1988/12/27	小淵 三郎	1987/11/06～1988/12/27	60日	自民党	池田派、大野茂、河野派、三木(保守派)
池田(第31次・改選)	1988/12/27～1989/08/03	堀川 正十郎	1988/12/27～1989/08/03	16日	自民党	池田派、大野茂、河野派、三木(保守派)
池田(第32次・改選)	1989/08/03～1989/08/10	山下 啓次	1989/08/03～1989/08/10	225日	自民党	池田派、大野茂、河野派、三木(保守派)
池田(第33次・改選)	1989/08/10～1990/02/25	藤山 寛子	1989/08/10～1990/02/25	188日	自民党	池田派、大野茂、河野派、三木(保守派)
池田(第34次・改選)	1990/02/25～1991/01/23	藤山 寛子	1990/02/25～1991/01/23	616日	自民党	池田派、大野茂、河野派、三木(保守派)
池田(第35次・改選)	1991/01/23～1991/11/05	藤山 寛子	1991/01/23～1991/11/05	404日	自民党	池田派、大野茂、河野派、三木(保守派)
池田(第36次・改選)	1991/11/05～1992/07/12	加藤 善一	1991/11/05～1992/07/12	241日	自民党	池田派、大野茂、河野派、三木(保守派)
池田(第37次・改選)	1992/07/12～1993/06/09	河野 洋平	1992/07/12～1993/06/09	241日	自民党	池田派、大野茂、河野派、三木(保守派)

表5 歴代自民党幹事長

名前(氏名)	在任期間	自派系	所属派	自派系主役派	幹事長	在任期間	在任日数	幹事長の派閥
山本 一郎(第1次)	1953/1225~1956/1223	山本派	山本派	山本派、村方派、大野派、岸派、三木(吉野)派(一河野派)	岸 新一	1955/1116~1956/1221	403日	岸派
石原 謙三	1957/0225~1970/0225	石原派	石原派	石原派、池田派、大野派、石井派、三木(松村派)	三木 武夫	1957/0225~1957/0710	202日	三木(松村派)
岸 新一(第2次)	1957/0225~1957/0710	岸派	岸派	岸派、佐藤派、大野派	川島 正次郎	1957/0710~1959/0110	550日	岸派
岸 新一(第3次)	1958/0612~1958/0612	岸派	岸派	岸派、佐藤派、河野派、大野派	福田 赳夫	1959/0110~1959/0616	158日	岸派
岸 新一(第4次)	1959/0617~1960/0719	岸派	岸派	岸派、佐藤派、河野派、大野派	川島 正次郎	1959/0616~1960/0718	389日	岸派
池田 勇人(第1次)	1960/0719~1960/1208	池田派	池田派	岸派、佐藤派、岸派	森谷 孝次	1960/0718~1961/0718	366日	池田派
池田 勇人(第2次)	1960/1208~1961/0718	池田派	池田派	池田派、大野派、川島派、河野派、三木(松村派)				
池田 勇人(第3次)	1961/0718~1962/0718	池田派	池田派	池田派、大野派、川島派、河野派、三木(松村派)	朝岡 繁三郎	1961/0718~1964/0716	1085日	池田派
池田 勇人(第4次)	1962/0718~1963/0718	池田派	池田派	池田派、大野派、川島派、河野派、三木(松村派)				
池田 勇人(第5次)	1963/0718~1963/1209	池田派	池田派	池田派、大野派、川島派、河野派、三木(松村派)				
池田 勇人(第6次)	1963/1209~1964/0718	池田派	池田派	池田派、大野派、川島派、河野派、三木(松村派)				
池田 勇人(第7次)	1964/0718~1964/1109	池田派	池田派	池田派、大野派、川島派、河野派、三木(松村派)				
佐藤 栄作(第1次)	1964/1109~1965/0603	佐藤派	佐藤派	佐藤派、池田派、村上派、石井派、福田派、川島派、森島、三木派	三木 武夫	1964/0716~1965/06/02	322日	三木派
佐藤 栄作(第2次)	1965/0603~1965/06/03	佐藤派	佐藤派	佐藤派、池田派、村上派、石井派、福田派、川島派、森島、三木派				
佐藤 栄作(第3次)	1965/0603~1966/12/03	佐藤派	佐藤派	佐藤派、池田派、村上派、石井派、福田派、川島派、森島、三木派	田中 角栄	1965/06/02~1966/12/03	550日	佐藤派
佐藤 栄作(第4次)	1966/12/03~1967/02/17	佐藤派	佐藤派	佐藤派、池田派、村上派、石井派、福田派、川島派、森島、三木派				
佐藤 栄作(第5次)	1967/0217~1967/11/25	佐藤派	佐藤派	佐藤派、池田派、石井派、福田派、川島派、森島、三木派	福田 赳夫	1966/12/03~1968/11/20	730日	福田派
佐藤 栄作(第6次)	1967/1125~1968/11/29	佐藤派	佐藤派	佐藤派、池田派、石井派、福田派、川島派、森島、三木派				
佐藤 栄作(第7次)	1968/1129~1970/01/14	佐藤派	佐藤派	佐藤派、池田派、石井派、福田派、川島派、森島、三木派	田中 角栄	1968/12/01~1971/07/05	947日	佐藤派
佐藤 栄作(第8次)	1970/0114~1971/07/05	佐藤派	佐藤派	佐藤派、池田派、石井派、福田派、川島派、森島、三木派				
佐藤 栄作(第9次)	1971/0705~1972/07/07	佐藤派	佐藤派	佐藤派、池田派、石井派、福田派、川島派、森島、三木派	保科 茂	1971/07/05~1972/07/06	368日	佐藤派
田中 角栄(第1次)	1972/0707~1973/11/25	田中派	田中派	田中派、大平派、石井派、福田派、川島派、中曾根派、池田派				
田中 角栄(第2次)	1973/1125~1974/11/11	田中派	田中派	田中派、大平派、石井派、福田派、川島派、中曾根派、三木派	榎本 豊隆三郎	1972/07/06~1974/11/11	850日	田中派
田中 角栄(第3次)	1974/1111~1974/12/09	田中派	田中派	田中派、大平派、石井派、福田派、川島派、中曾根派、三木派				
田中 角栄(第4次)	1974/1209~1976/06/15	田中派	田中派	田中派、大平派、石井派、福田派、川島派、中曾根派、三木派	中曾根 康弘	1974/12/09~1976/06/15	647日	中曾根派
田中 角栄(第5次)	1976/0615~1976/07/23	田中派	田中派	田中派、大平派、石井派、福田派、川島派、中曾根派、三木派	内田 常雄	1976/06/15~1976/07/23	100日	大平派
三木 武夫(第1次)	1976/0723~1976/09/15	三木派	三木派	三木派、中曾根派、池田派、石井派、福田派、川島派、中曾根派(中)	大平 正房	1976/07/23~1978/11/20	715日	大平派
三木 武夫(第2次)	1976/0915~1976/09/24	三木派	三木派	三木派、中曾根派、池田派、石井派、福田派、川島派、中曾根派(中)	藤野 野吾	1978/12/07~1979/11/16	348日	大平派
福田 赳夫(第1次)	1977/1128~1977/11/28	福田派	福田派	福田派、田中派、大平派、池田派、水田派、石井派、藤名派	藤内 健雄	1979/11/16~1981/11/30	746日	中曾根派
福田 赳夫(第2次)	1977/1128~1978/12/07	福田派	福田派	福田派、田中派、大平派、池田派、水田派、石井派、藤名派				
大平 正房(第1次)	1978/1207~1979/11/09	大平派	大平派	大平派、田中派	二階堂 進	1981/11/30~1982/11/26	357日	田中派
大平 正房(第2次)	1979/1109~1980/06/12	大平派	大平派	大平派、田中派	田中 大助	1982/12/26~1984/10/31	311日	藤本派
大平 正房(第3次)	1980/0612~1980/07/17	大平派	大平派	大平派、田中派	中曾根 康弘	1984/10/31~1986/07/22	607日	田中派
大平 正房(第4次)	1980/0717~1980/07/17	大平派	大平派	大平派、田中派	倉川 昌	1986/07/22~1987/10/31	467日	田中派
大平 正房(第5次)	1980/0717~1981/11/30	大平派	大平派	大平派、田中派	竹下 登	1987/10/31~1988/06/02	581日	安倍派
大平 正房(第6次)	1981/1130~1982/11/26	大平派	大平派	大平派、田中派	榎本 龍太郎	1988/06/02~1988/08/09	69日	竹下派
大平 正房(第7次)	1982/1126~1983/11/25	大平派	大平派	大平派、田中派	小沢 一郎	1988/08/09~1991/04/08	608日	竹下派
大平 正房(第8次)	1983/1125~1984/11/01	大平派	大平派	大平派、田中派				
中曾根 康弘(第1次)	1984/1101~1985/12/28	中曾根派	中曾根派	中曾根派、田中派、藤本派、石原派、河本派				
中曾根 康弘(第2次)	1985/1228~1986/07/22	中曾根派	中曾根派	中曾根派、田中派、藤本派、石原派、河本派				
中曾根 康弘(第3次)	1986/0722~1987/11/06	中曾根派	中曾根派	中曾根派、田中派、藤本派、石原派、河本派				
中曾根 康弘(第4次)	1987/1106~1988/06/03	中曾根派	中曾根派	中曾根派、田中派、藤本派、石原派、河本派				
中曾根 康弘(第5次)	1988/0603~1990/08/10	中曾根派	中曾根派	中曾根派、田中派、藤本派、石原派、河本派				
中曾根 康弘(第6次)	1990/0810~1990/08/28	中曾根派	中曾根派	中曾根派、田中派、藤本派、石原派、河本派				
中曾根 康弘(第7次)	1990/0828~1990/11/29	中曾根派	中曾根派	中曾根派、田中派、藤本派、石原派、河本派				
中曾根 康弘(第8次)	1990/1129~1991/11/10	中曾根派	中曾根派	中曾根派、田中派、藤本派、石原派、河本派				
中曾根 康弘(第9次)	1991/1110~1992/12/12	中曾根派	中曾根派	中曾根派、田中派、藤本派、石原派、河本派				
中曾根 康弘(第10次)	1992/1212~1993/08/09	中曾根派	中曾根派	中曾根派、田中派、藤本派、石原派、河本派				

種別	賞格上内	在籍期間	自居賞級	総務課	自署主査課	自署主査課	幹事長	在籍期間	在籍日数	除年長の階級
柳川龍彦	賞格上内	1952/08/09～1954/04/25		宮沢派	自署主査課	宮沢派、小瀬派、河本派	宮沢派	1952/08/09～1954/04/25	737日	三階派
岩田茂		1954/04/25～1954/06/30	河野平	宮沢派	宮沢派、三階派、小瀬派、河本派	宮沢派、三階派、小瀬派、河本派	宮沢派	1954/06/30～1954/08/08	49日	三階派
村山富市(改選)		1955/08/08～1956/07/11			宮沢派、三階派、小瀬派、河本派	宮沢派、三階派、小瀬派、河本派	三階派	1955/08/08～1955/09/25	48日	三階派
橋本善太郎(第1次)		1956/07/11～1956/11/07	橋本龍太郎	小瀬派	小瀬派、自署主査課、宮沢派、河本派	小瀬派、自署主査課、宮沢派、河本派	橋本善一	1956/07/25～1956/07/25	1035日	宮沢派
橋本善太郎(第2次)		1957/07/11～1957/09/11			小瀬派、自署主査課、宮沢派、河本派	小瀬派、自署主査課、宮沢派、河本派	橋本善一	1957/07/25～2000/04/05	621日	三階派→一階派
橋本善太郎(第3次)		1958/07/30～1958/09/14	小瀬三	小瀬派	小瀬派、宮沢派(一加藤派)、田邊逸郎の山崎グループ、田原派	小瀬派、宮沢派(一加藤派)、田邊逸郎の山崎グループ、田原派	橋本善一	2000/04/05～2000/12/05	215日	田原派
橋本善太郎(第4次)		1959/10/18～1959/10/18			小瀬派、宮沢派(一加藤派)、田邊逸郎の山崎グループ、田原派	小瀬派、宮沢派(一加藤派)、田邊逸郎の山崎グループ、田原派	橋本善一	2000/12/05～2001/04/25	142日	加藤派
橋本善太郎(第5次)		1959/10/18～2000/07/05	森島朝	森派	森派、橋本派、江藤派、河野グループ(一部内派)、河野グループ、田原派	森派、橋本派、江藤派、河野グループ(一部内派)、河野グループ、田原派	森島朝	2001/04/25～2003/09/21	880日	森派
橋本善太郎(第6次)		2000/07/05～2001/07/06			森派、橋本派、江藤派、河野グループ(一部内派)、河野グループ、田原派	森派、橋本派、江藤派、河野グループ(一部内派)、河野グループ、田原派	森島朝	2003/09/21～2004/09/27	373日	森派
橋本善太郎(第7次)		2001/07/06～2002/06/30			森派、橋本派、江藤派、河野グループ(一部内派)、河野グループ、田原派	森派、橋本派、江藤派、河野グループ(一部内派)、河野グループ、田原派	森島朝	2004/09/27～2006/09/25	729日	山崎派
橋本善太郎(第8次)		2002/06/30～2003/06/29			森派、橋本派、江藤派、河野グループ(一部内派)、河野グループ、田原派	森派、橋本派、江藤派、河野グループ(一部内派)、河野グループ、田原派	森島朝	2006/09/25～2007/08/27	337日	森派→新吉派
橋本善太郎(第9次)		2003/06/29～2003/11/19	小泉純一郎	森派	森派、山崎派、田加藤派、参院橋本派、堀内派、河野グループ	森派、山崎派、田加藤派、参院橋本派、堀内派、河野グループ	森島朝	2007/08/27～2007/09/24	29日	森派
橋本善太郎(第10次)		2003/11/19～2004/09/27			森派、山崎派、田加藤派、参院橋本派、堀内派、河野グループ	森派、山崎派、田加藤派、参院橋本派、堀内派、河野グループ	森島朝	2007/09/24～2008/08/01	313日	伊吹派
橋本善太郎(第11次)		2004/09/27～2005/06/21			森派、山崎派、田加藤派、参院橋本派、堀内派、河野グループ	森派、山崎派、田加藤派、参院橋本派、堀内派、河野グループ	森島朝	2008/08/01～2008/09/22	53日	伊吹派
橋本善太郎(第12次)		2005/06/21～2005/07/03			森派、山崎派、田加藤派、参院橋本派、堀内派、河野グループ	森派、山崎派、田加藤派、参院橋本派、堀内派、河野グループ	森島朝	2008/09/22～2009/09/29	373日	新吉派
安部善三(第1次)		2005/09/29～2007/08/27	安部善三	森派	森派、丹羽、古沢派、伊吹派、高村派、二階グループ、無所属	森派、丹羽、古沢派、伊吹派、高村派、二階グループ、無所属	安部善三	2009/09/29～2010/08/09	346日	高村派
安部善三(第2次)		2007/08/27～2007/08/27			森派、丹羽、古沢派、伊吹派、高村派、二階グループ、無所属	森派、丹羽、古沢派、伊吹派、高村派、二階グループ、無所属	安部善三	2010/08/09～2012/08/28	751日	山崎派
安部善三(第3次)		2007/08/27～2008/08/02			森派、丹羽、古沢派、伊吹派、高村派、二階グループ、無所属	森派、丹羽、古沢派、伊吹派、高村派、二階グループ、無所属	安部善三	2012/08/28～2014/09/03	706日	無所属
安部善三(第4次)		2008/08/02～2008/09/24	福田典夫	新吉派	新吉派、津島派、古沢派、山崎派、伊吹派、二階派、高村派	新吉派、津島派、古沢派、山崎派、伊吹派、二階派、高村派	福田典夫	2014/09/03～2016/08/03	701日	無所属(参事→一階)
安部善三(第5次)		2008/09/24～2009/09/24			新吉派、津島派、古沢派、山崎派、伊吹派、二階派、高村派	新吉派、津島派、古沢派、山崎派、伊吹派、二階派、高村派	福田典夫	2016/08/03～2021/01/01	1886日	二階派
安部善三(第6次)		2009/09/24～2010/06/08	橋田善夫	新吉派	新吉派、津島派、古沢派、山崎派、伊吹派、二階派、高村派	新吉派、津島派、古沢派、山崎派、伊吹派、二階派、高村派	橋田善夫	2021/01/01～2021/11/04	35日	橋田善夫
安部善三(第7次)		2010/06/08～2010/09/17	橋田善夫	新吉派	新吉派、津島派、古沢派、山崎派、伊吹派、二階派、高村派	新吉派、津島派、古沢派、山崎派、伊吹派、二階派、高村派	橋田善夫	2021/11/04～	1	竹下派→一階派
安部善三(第8次)		2010/09/17～2011/01/14			新吉派、津島派、古沢派、山崎派、伊吹派、二階派、高村派	新吉派、津島派、古沢派、山崎派、伊吹派、二階派、高村派	橋田善夫			
安部善三(第9次)		2011/01/14～2011/09/02	谷村誠一	古沢派	古沢派、伊吹派、高村派、細野派、山崎派	古沢派、伊吹派、高村派、細野派、山崎派	石原伸男			
安部善三(第10次)		2011/09/02～2012/07/15			古沢派、伊吹派、高村派、細野派、山崎派	古沢派、伊吹派、高村派、細野派、山崎派	石原伸男			
安部善三(第11次)		2012/07/15～2012/09/04			古沢派、伊吹派、高村派、細野派、山崎派	古沢派、伊吹派、高村派、細野派、山崎派	石原伸男			
安部善三(第12次)		2012/09/04～2012/10/01			古沢派、伊吹派、高村派、細野派、山崎派	古沢派、伊吹派、高村派、細野派、山崎派	石原伸男			
安部善三(第13次)		2012/10/01～2012/12/26			古沢派、伊吹派、高村派、細野派、山崎派	古沢派、伊吹派、高村派、細野派、山崎派	石原伸男			
安部善三(第14次)		2012/12/26～2013/06/03			古沢派、伊吹派、高村派、細野派、山崎派	古沢派、伊吹派、高村派、細野派、山崎派	石原伸男			
安部善三(第15次)		2013/06/03～2013/07/21			古沢派、伊吹派、高村派、細野派、山崎派	古沢派、伊吹派、高村派、細野派、山崎派	石原伸男			
安部善三(第16次)		2013/07/21～2013/10/07			古沢派、伊吹派、高村派、細野派、山崎派	古沢派、伊吹派、高村派、細野派、山崎派	石原伸男			
安部善三(第17次)		2013/10/07～2013/10/07	安部善三	新吉派	新吉派、津島派、古沢派、山崎派、伊吹派、二階派、高村派	新吉派、津島派、古沢派、山崎派、伊吹派、二階派、高村派	安部善三			
安部善三(第18次)		2013/10/07～2014/08/03			新吉派、津島派、古沢派、山崎派、伊吹派、二階派、高村派	新吉派、津島派、古沢派、山崎派、伊吹派、二階派、高村派	安部善三			
安部善三(第19次)		2014/08/03～2017/11/01			新吉派、津島派、古沢派、山崎派、伊吹派、二階派、高村派	新吉派、津島派、古沢派、山崎派、伊吹派、二階派、高村派	安部善三			
安部善三(第20次)		2017/11/01～2018/01/02			新吉派、津島派、古沢派、山崎派、伊吹派、二階派、高村派	新吉派、津島派、古沢派、山崎派、伊吹派、二階派、高村派	安部善三			
安部善三(第21次)		2018/01/02～2018/09/11			新吉派、津島派、古沢派、山崎派、伊吹派、二階派、高村派	新吉派、津島派、古沢派、山崎派、伊吹派、二階派、高村派	安部善三			
安部善三(第22次)		2018/09/11～2019/09/16	菅原健	無所属	新吉派、津島派、古沢派、山崎派、伊吹派、二階派、高村派	新吉派、津島派、古沢派、山崎派、伊吹派、二階派、高村派	菅原健			
安部善三(第23次)		2019/09/16～2021/10/04			新吉派、津島派、古沢派、山崎派、伊吹派、二階派、高村派	新吉派、津島派、古沢派、山崎派、伊吹派、二階派、高村派	菅原健			
田辺文雄(第1次)		2021/10/04～2021/11/10	岸田文雄	岸田派	岸田派、橋田派、藤生派、竹下派	岸田派、橋田派、藤生派、竹下派	岸田文雄			
田辺文雄(第2次)		2021/11/10～2022/08/10			岸田派、橋田派、藤生派、竹下派	岸田派、橋田派、藤生派、竹下派	岸田文雄			
田辺文雄(第3次)		2022/08/10～2023/09/14			岸田派、橋田派、藤生派、竹下派	岸田派、橋田派、藤生派、竹下派	岸田文雄			

出典：表2と同定。

表7 歴代自民党政務調査会長

官制(内閣)	在任期間	自民党組織	所属派閥	自派系派源	所属派系各派	在任期間	在任日数	所属派系各派の 別当
鳩山一郎(第3次)	1955/11/22～1957/01/23	鳩山一郎	鳩山派	鳩山派、精進派、大野派、岸派、三木(武吉)派(一河野派)	水田 三喜男	1955/11/16～1957/01/16	426日	大野派
石橋湛山	1956/12/25～1957/02/01	石橋湛山	石橋派	石橋派、池田派、大野派、石井派、三木(松平)派	福田 三喜男	1957/01/16～1957/02/01	176日	石井派
岸野介(第1次)	1957/07/10～1958/09/12	岸野介	岸派	岸派、佐藤派、河野派、大野派	三木 武夫	1957/07/10～1958/09/12	338日	三木(松平)派
岸野介(第2次)	1958/09/12～1959/04/18	岸野介	岸派	岸派、佐藤派、河野派、大野派	福田 三喜男	1959/01/16～1959/04/18	213日	河野派
岸野介(第3次)	1959/04/18～1960/07/18	岸野介	岸派	岸派、佐藤派、河野派、大野派	福田 三喜男	1959/06/16～1960/07/18	369日	大野派
池田勇人(第1次)	1960/07/18～1961/07/18	池田勇人	池田派	池田派、大野派、河野派、三木(松平)派	福田 三喜男	1960/07/18～1961/07/18	344日	岸派
池田勇人(第2次)	1961/07/18～1962/07/18	池田勇人	池田派	池田派、大野派、河野派、三木(松平)派	福田 三喜男	1961/07/18～1962/07/18	222日	岸派
池田勇人(第3次)	1962/07/18～1963/07/18	池田勇人	池田派	池田派、大野派、河野派、三木(松平)派	福田 三喜男	1962/07/18～1963/07/18	366日	佐藤派
池田勇人(第4次)	1963/07/18～1964/07/18	池田勇人	池田派	池田派、大野派、河野派、三木(松平)派	福田 三喜男	1963/07/17～1964/07/17	367日	中野派(菅原派)
佐藤栄作(第1次)	1964/07/17～1965/06/02	佐藤栄作	佐藤派	佐藤派、池田派、村上天、石井派、福田派、川島派、藤原(三木)派	藤原 武雄	1964/07/17～1965/06/02	321日	池田派
佐藤栄作(第2次)	1965/06/02～1966/07/25	佐藤栄作	佐藤派	佐藤派、池田派、村上天、石井派、福田派、川島派、藤原(三木)派	藤原 武雄	1965/06/02～1966/07/25	425日	川島派
佐藤栄作(第3次)	1966/07/25～1967/02/17	佐藤栄作	佐藤派	佐藤派、池田派、村上天、石井派、福田派、川島派、藤原(三木)派	水田 三喜男	1966/07/25～1967/02/17	176日	池田派
佐藤栄作(第4次)	1967/02/17～1967/09/15	佐藤栄作	佐藤派	佐藤派、池田派、村上天、石井派、福田派、川島派、藤原(三木)派	西村 誠巳	1967/02/17～1967/09/15	257日	佐藤派
佐藤栄作(第5次)	1967/09/15～1968/01/30	佐藤栄作	佐藤派	佐藤派、池田派、村上天、石井派、福田派、川島派、藤原(三木)派	大平 正芳	1967/09/15～1968/01/30	107日	前派
佐藤栄作(第6次)	1968/01/30～1968/03/30	佐藤栄作	佐藤派	佐藤派、池田派、村上天、石井派、福田派、川島派、藤原(三木)派	藤原 武雄	1968/01/30～1968/03/30	60日	池田派
佐藤栄作(第7次)	1968/03/30～1970/07/18	佐藤栄作	佐藤派	佐藤派、池田派、村上天、石井派、福田派、川島派、藤原(三木)派	小室 善次郎	1970/07/18～1972/07/06	368日	大平派
田中角栄(第1次)	1972/07/06～1972/12/23	田中角栄	田中派	田中派、大野派、池田派、水田派、村上天、石井派、福田派、川島派、中野派、藤原(三木)派	山田 隆男	1972/07/06～1972/12/23	171日	中野派
田中角栄(第2次)	1972/12/23～1973/11/23	田中角栄	田中派	田中派、大野派、池田派、水田派、村上天、石井派、福田派、川島派、中野派、藤原(三木)派	山田 隆男	1972/12/23～1973/11/23	338日	水田派
田中角栄(第3次)	1973/11/23～1974/11/11	田中角栄	田中派	田中派、大野派、池田派、水田派、村上天、石井派、福田派、川島派、中野派、藤原(三木)派	山田 隆男	1973/11/23～1974/11/11	338日	水田派
田中角栄(第4次)	1974/11/11～1974/12/09	田中角栄	田中派	田中派、大野派、池田派、水田派、村上天、石井派、福田派、川島派、中野派、藤原(三木)派	山田 隆男	1974/11/11～1974/12/09	29日	中野派
三木武夫	1974/12/09～1976/09/15	三木武夫	三木派	三木派、池田派、中野派	坂野 三三	1974/12/09～1976/09/15	647日	福田派
三木武夫(改選)	1976/09/15～1977/1/24	三木武夫	三木派	三木派、池田派、中野派	坂野 三三	1976/09/15～1977/1/24	100日	三木派
福田赳夫	1977/1/24～1978/12/07	福田赳夫	福田派	福田派、池田派、水田派、村上天、石井派、村名派、中野派、藤原(三木)派	河本 敏夫	1977/01/24～1978/12/07	340日	三木派
大平正芳(第1次)	1978/12/07～1979/10/07	大平正芳	大平派	大平派、池田派、水田派、村上天、石井派、村名派、中野派、藤原(三木)派	河本 敏夫	1978/12/07～1979/10/07	324日	田中派
大平正芳(第2次)	1979/10/07～1980/07/13	大平正芳	大平派	大平派、池田派、水田派、村上天、石井派、村名派、中野派、藤原(三木)派	河本 敏夫	1979/10/07～1980/07/13	251日	三木派
大平正芳(第3次)	1980/07/13～1981/07/13	大平正芳	大平派	大平派、池田派、水田派、村上天、石井派、村名派、中野派、藤原(三木)派	安倍 晋太郎	1980/07/13～1981/07/13	345日	福田派
鈴木善幸	1981/07/13～1981/11/20	鈴木善幸	鈴木派	鈴木派、田中派、池田派、中野派、藤原(三木)派	田中 大輔	1981/07/13～1981/11/20	146日	鈴木派
中曾根康弘(第1次)	1981/11/20～1982/12/21	中曾根康弘	中曾根派	中曾根派、田中派、池田派、中野派、藤原(三木)派	田中 大輔	1981/11/20～1982/12/21	357日	鈴木派
中曾根康弘(第2次)	1982/12/21～1983/01/21	中曾根康弘	中曾根派	中曾根派、田中派、池田派、中野派、藤原(三木)派	田中 大輔	1982/12/21～1983/01/21	31日	鈴木派
中曾根康弘(第3次)	1983/01/21～1983/07/22	中曾根康弘	中曾根派	中曾根派、田中派、池田派、中野派、藤原(三木)派	藤原 正行	1983/01/21～1983/07/22	183日	福田派
竹下登(第1次)	1983/07/22～1984/07/18	竹下登	竹下派	竹下派、中野派、安藤派、中野派、藤原(三木)派	伊藤 正徳	1983/07/22～1984/07/18	467日	鈴木派(菅沢派)
竹下登(第2次)	1984/07/18～1984/09/12	竹下登	竹下派	竹下派、中野派、安藤派、中野派、藤原(三木)派	伊藤 正徳	1984/07/18～1984/09/12	58日	中野派
竹下登(第3次)	1984/09/12～1984/10/03	竹下登	竹下派	竹下派、中野派、安藤派、中野派、藤原(三木)派	伊藤 正徳	1984/09/12～1984/10/03	68日	安藤派
竹下登(第4次)	1984/10/03～1984/11/03	竹下登	竹下派	竹下派、中野派、安藤派、中野派、藤原(三木)派	伊藤 正徳	1984/10/03～1984/11/03	61日	安藤派(三原派)
宮沢喜一(第1次)	1984/11/03～1984/12/13	宮沢喜一	宮沢派	宮沢派、中野派、藤原(三木)派、池田派、河本派	三原 博	1984/11/03～1984/12/13	408日	三原派
宮沢喜一(第2次)	1984/12/13～1985/06/02	宮沢喜一	宮沢派	宮沢派、中野派、藤原(三木)派、池田派、河本派	三原 博	1984/12/13～1985/06/02	235日	三原派

表8 歴代自民党選挙対策委員長

首領と内閣	在職期間	自民党総裁	総務派閥	自民党生流派	選挙対策委員長 (2009年9月10日～2012年 12月15日現在)の派閥	在職期間	在職日数	選挙対策委員長 (選挙対策委員長)の派閥
福田康夫	2007/09/26～2008/08/02	福田康夫	町村派	町村派、津島派、古賀派、山崎派、伊吹派、二階派、谷垣派、高村派	古賀派	2007/09/24～2009/07/22	668日	古賀派
福田康夫(改選)	2008/08/02～2008/09/24	福田康夫	町村派	町村派、津島派、古賀派、山崎派、伊吹派、二階派、谷垣派、高村派	古賀派			
麻生太郎	2008/09/24～2009/09/16	麻生太郎	麻生派	麻生派、伊吹派、二階派、高村派	二階 参陣			
鳩山由紀夫	2009/09/16～2010/06/08			古賀派、伊吹派、高村派、額賀派、山崎派、二階派(2009年11月伊吹派に合流)	二階 参陣	2009/09/30～2009/12/15	77日	二階派→伊吹派
菅直人	2010/06/08～2010/09/17			古賀派、伊吹派、高村派、額賀派、山崎派				
菅直人(改選)	2010/09/17～2011/01/14		谷垣派	古賀派、伊吹派、高村派、額賀派、山崎派				
菅直人(第2次改選)	2011/01/14～2011/09/02		谷垣派	古賀派、伊吹派、高村派、額賀派、山崎派				
野田佳彦	2011/09/02～2012/01/13			古賀派、伊吹派、高村派、額賀派、山崎派				
野田佳彦(改選)	2012/01/13～2012/06/04			古賀派、伊吹派、高村派、額賀派、山崎派	河村 建夫	2010/04/06～2014/09/03	1612日	伊吹派→二階派
野田佳彦(第2次改選)	2012/06/04～2012/10/01			古賀派、伊吹派、高村派、額賀派、山崎派				
野田佳彦(第3次改選)	2012/10/01～2012/12/26			町村派、麻生派、高村派(→大島派)、額賀派、伊吹派				
安倍晋三(第2次)	2012/12/26～2014/09/03			町村派、麻生派、大島派、額賀派、伊吹派(→二階派)				
安倍晋三(第2次・改選)	2014/09/03～2014/12/24			町村派、麻生派、大島派、額賀派、二階派	高木 敏夫	2014/09/03～2016/08/03	701日	額賀派
安倍晋三(第3次)	2014/12/24～2015/10/07			細田派、麻生派、大島派(→山東派)、額賀派、二階派				
安倍晋三(第3次・改選)	2015/10/07～2016/08/03			細田派、額賀派、岸田派、麻生派、二階派、石原派、山縣派	古重 圭司	2016/08/03～2017/08/03	366日	無派閥
安倍晋三(第3次・第2次改選)	2016/08/03～2017/08/03		町村派→細田派	細田派、額賀派、岸田派、麻生派、二階派、石原派、山縣派	古重 圭司	2016/08/03～2017/08/03	366日	無派閥
安倍晋三(第3次・第3次改選)	2017/08/03～2017/11/01			細田派、額賀派、岸田派、麻生派、二階派、石原派	雄谷 立	2017/08/03～2018/10/02	426日	細田派
安倍晋三(第4次)	2017/11/01～2018/10/02			細田派、額賀派、岸田派、麻生派、二階派、石原派	甘利 明	2018/10/02～2019/09/11	345日	麻生派
安倍晋三(第4次・改選)	2018/10/02～2019/09/11			細田派、麻生派、岸田派、二階派、石原派、衆院竹下派	下村 博文	2019/09/11～2020/09/15	371日	細田派
安倍晋三(第4次・第2次改選)	2019/09/11～2020/09/16			細田派、麻生派、岸田派、二階派、石原派、衆院竹下派	山口 義明	2020/09/15～2021/10/01	382日	竹下派
菅義偉	2020/09/16～2021/10/04	菅義偉	無派閥	二階派、細田派、麻生派、竹下派、石原派	清瀧 利明	2021/10/01～2022/08/10	314日	無派閥(谷垣グループ)
岸田文雄(第1次)	2021/10/04～2022/08/10	岸田文雄	岸田派	岸田派、安倍派、麻生派、竹下派(→茂木派)	岸田 裕	2022/08/10～2023/09/14	401日	森山派
岸田文雄(第2次)	2022/08/10～2023/09/14	岸田文雄	岸田派	岸田派、安倍派、麻生派、茂木派	小淵 優子	2023/09/14～	—	茂木派
岸田文雄(第2次・改選)	2023/09/14～			岸田派、安倍派、麻生派、茂木派				

出典：表2と同じ。

所属内閣	任期上内閣	在職期間	自派内閣	自派外派	所属派	職務	在職期間	在職日数	所属後の派閥
朝川龍太郎	首相上内閣	1950/08/09～1954/04/28		安部派、小派派、河本派	安部派				
羽田孜	羽田派	1954/04/29～1954/06/30		安部派、三派派、小派派、河本派	安部派				
村山重行(改選)	河野洋平	1954/06/30～1955/08/08		安部派、三派派、小派派、河本派	河野洋平		1954/07/06～1955/08/25	44日	小派派
村山重行(改選)	河野洋平	1955/08/09～1956/01/11		安部派、三派派、小派派、河本派	河野洋平				
橋本龍太郎(第1次)	橋本龍太郎	1956/01/11～1956/11/07		小派派、自派内閣、安部派、河本派	橋本龍太郎				
橋本龍太郎(第2次)	橋本龍太郎	1956/11/07～1957/06/11		小派派、自派内閣、安部派、河本派	橋本龍太郎				
橋本龍太郎(第3次、改選)	橋本龍太郎	1957/06/11～1958/07/30		小派派、自派内閣、安部派、河本派	橋本龍太郎				
小派派	小派派	1958/07/30～1959/07/14		小派派、自派内閣、安部派、河本派	小派派				
小派派(改選)	小派派	1959/07/14～1959/10/05		小派派、自派内閣、安部派、河本派	小派派				
小派派(第2次改選)	小派派	1959/10/05～2000/07/04		小派派、自派内閣、安部派、河本派	小派派				
橋本龍太郎(第4次)	橋本龍太郎	2000/07/04～2000/12/07		小派派、自派内閣、安部派、河本派	橋本龍太郎				
橋本龍太郎(第5次)	橋本龍太郎	2001/01/06～2001/04/29		小派派、自派内閣、安部派、河本派	橋本龍太郎				
小派派(第1次、改選)	小派派	2001/04/29～2002/08/30		小派派、自派内閣、安部派、河本派	小派派				
小派派(第2次、改選)	小派派	2002/08/30～2003/06/19		小派派、自派内閣、安部派、河本派	小派派				
小派派(第3次、改選)	小派派	2003/06/19～2004/08/27		小派派、自派内閣、安部派、河本派	小派派				
小派派(第4次、改選)	小派派	2004/08/27～2005/03/31		小派派、自派内閣、安部派、河本派	小派派				
小派派(第5次、改選)	小派派	2005/03/31～2006/04/29		小派派、自派内閣、安部派、河本派	小派派				
安倍晋三(第1次)	安倍晋三	2006/04/29～2007/08/27		安倍晋三	安倍晋三				
安倍晋三(第2次、改選)	安倍晋三	2007/08/27～2007/09/29		安倍晋三	安倍晋三				
福田康夫	福田康夫	2007/09/29～2008/05/30		福田康夫	福田康夫				
福田康夫(改選)	福田康夫	2008/05/30～2008/08/21		福田康夫	福田康夫				
麻生太郎	麻生太郎	2008/08/21～2009/06/16		麻生太郎	麻生太郎				
鳩山由紀夫	鳩山由紀夫	2009/06/16～2010/06/08		鳩山由紀夫	鳩山由紀夫				
菅直人	菅直人	2010/06/08～2010/09/17		菅直人	菅直人				
菅直人(改選)	菅直人	2010/09/17～2011/01/14		菅直人	菅直人				
野田佳彦	野田佳彦	2011/01/14～2011/08/02		野田佳彦	野田佳彦				
野田佳彦(改選)	野田佳彦	2011/08/02～2012/01/13		野田佳彦	野田佳彦				
野田佳彦(第2次改選)	野田佳彦	2012/01/13～2012/06/04		野田佳彦	野田佳彦				
野田佳彦(第3次改選)	野田佳彦	2012/06/04～2012/12/26		野田佳彦	野田佳彦				
安倍晋三(第2次、改選)	安倍晋三	2012/12/26～2014/06/03		安倍晋三	安倍晋三				
安倍晋三(第3次、改選)	安倍晋三	2014/06/03～2014/11/24		安倍晋三	安倍晋三				
安倍晋三(第4次、改選)	安倍晋三	2014/11/24～2015/10/07		安倍晋三	安倍晋三				
安倍晋三(第5次、改選)	安倍晋三	2015/10/07～2016/08/03		安倍晋三	安倍晋三				
安倍晋三(第6次、改選)	安倍晋三	2016/08/03～2017/11/01		安倍晋三	安倍晋三				
安倍晋三(第7次、改選)	安倍晋三	2017/11/01～2018/10/02		安倍晋三	安倍晋三				
安倍晋三(第8次、改選)	安倍晋三	2018/10/02～2019/08/11		安倍晋三	安倍晋三				
安倍晋三(第9次、改選)	安倍晋三	2019/08/11～2020/08/16		安倍晋三	安倍晋三				
菅義偉	菅義偉	2020/08/16～2021/10/04		菅義偉	菅義偉				
岸田文雄(第1次)	岸田文雄	2021/10/04～2021/11/10		岸田文雄	岸田文雄				
岸田文雄(第2次)	岸田文雄	2021/11/10～2022/08/10		岸田文雄	岸田文雄				
岸田文雄(第3次、改選)	岸田文雄	2022/08/10～2023/09/14		岸田文雄	岸田文雄				
岸田文雄(第4次、改選)	岸田文雄	2023/09/14～		岸田文雄	岸田文雄				

出典：表2と同じ。

表10 歴代自民党参議院議員会長

首魁上内閣	在職期間	自民党総裁	総裁所属	自民党主要派系	参議院議員会長	在職期間	在職日数	参議院議員会長の派系
鳩山一郎(第3次)	1955/11/29～1956/12/23	鳩山一郎	鳩山派	鳩山派、椿方派、大野派、岸派、三木(武吉)派(→河野派)	松野 健平	1955/11/29～1956/02/10	82日	松野派
石橋達山	1956/12/23～1957/02/25	石橋達山	石橋派	五藤派、池田派、大野派、石井派、三木、松村派	野村 吉三郎	1956/08/03～1957/08/05	368日	無派閥
岸信介(第1次)	1957/02/25～1957/07/10			岸派、佐藤派、河野派、大野派				
岸信介(第1次・改選)	1957/07/10～1958/06/31		岸派	岸派、佐藤派、河野派、大野派				
岸信介(第2次)	1958/06/31～1959/06/18	岸信介		岸派、佐藤派、河野派、大野派	吉野 敏次	1957/08/05～1959/10/27	814日	岸派
岸信介(第2次・改選)	1959/06/18～1960/07/19			岸派、佐藤派、河野派、大野派				
池田勇人(第1次)	1960/07/19～1960/12/08			池田派、佐藤派、岸派				
池田勇人(第2次)	1960/12/08～1961/07/18			池田派、大野派、川島派、河野派、三木、松村派	重泉 雄三	1959/10/27～1962/07/30	1008日	岸派→佐藤派
池田勇人(第2次・改選)	1961/07/18～1962/07/18			池田派、大野派、川島派、河野派、三木、松村派				
池田勇人(第2次・第2次改選)	1962/07/18～1963/07/18	池田勇人	池田派	池田派、大野派、川島派、河野派、三木、松村派	林 龍 亀次郎	1962/07/30～1965/07/26	1093日	石井派
池田勇人(第2次・第3次改選)	1963/07/18～1963/12/09			池田派、大野派、川島派、河野派、三木、松村派				
池田勇人(第3次)	1963/12/09～1964/07/18			池田派、大野派、川島派、河野派、三木、松村派				
池田勇人(第3次・改選)	1964/07/18～1964/11/09			池田派、大野派、川島派、河野派、三木、松村派				
佐藤栄作(第1次)	1964/11/09～1965/06/03			佐藤派、池田派、村上派、石井派、福田派、川島派、森派、三木派				
佐藤栄作(第1次・改選)	1965/06/03～1966/08/01			佐藤派、池田派、村上派、石井派、福田派、川島派、森派、三木派	青木 一男	1965/07/26～1968/12/05	498日	石井派
佐藤栄作(第1次・第2次改選)	1966/08/01～1966/12/03			佐藤派、池田派、村上派、石井派、福田派、川島派、森派、三木派				
佐藤栄作(第1次・第3次改選)	1966/12/03～1967/02/17			佐藤派、池田派、村上派、石井派、福田派、川島派、森派、三木派	林 龍 亀次郎	1968/12/05～1968/08/03	608日	石井派
佐藤栄作(第2次)	1967/02/17～1967/11/25	佐藤栄作	佐藤派	佐藤派、池田派、石井派、福田派、川島派、森派、三木派				
佐藤栄作(第2次・改選)	1967/11/25～1968/11/30			佐藤派、池田派、石井派、福田派、川島派、森派、三木派				
佐藤栄作(第2次・第2次改選)	1968/11/30～1970/01/14			佐藤派、池田派、石井派、福田派、川島派、森派、三木派				
佐藤栄作(第3次)	1970/01/14～1971/07/05			佐藤派、池田派、石井派、福田派、川島派、森派、三木派				
佐藤栄作(第3次・改選)	1971/07/05～1972/07/07			佐藤派、池田派、石井派、福田派、川島派、森派、三木派	平井 太郎	1968/08/03～1973/12/01	1917日	藤山派→福田派
田中角栄(第1次)	1972/07/07～1972/12/22			田中派、大平派、福田派、水田派、石井派、椎名派、藤山派、中曾根派、三木派				
田中角栄(第2次)	1972/12/22～1973/11/25	田中角栄	田中派	田中派、大平派、福田派、水田派、石井派、椎名派、藤山派、中曾根派、三木派	野 格一	1973/12/01～1974/07/22	234日	田中派
田中角栄(第2次・改選)	1973/11/25～1974/11/11			田中派、大平派、福田派、水田派、石井派、椎名派、藤山派、中曾根派、三木派				
田中角栄(第2次・第2次改選)	1974/11/11～1974/12/09			田中派、大平派、福田派、水田派、石井派、椎名派、藤山派、中曾根派、三木派	安井 謙	1974/07/22～1977/07/30	1105日	福田派
三木武夫	1974/12/09～1976/09/15		三木派	田中派、大平派、福田派、水田派、石井派、椎名派、藤山派、中曾根派、三木派				
三木武夫(改選)	1976/09/15～1976/12/24	三木武夫		田中派、大平派、福田派、水田派、石井派、椎名派、藤山派、中曾根派、三木派				
福田赳夫	1976/12/24～1977/11/28	福田赳夫	福田派	田中派、大平派、福田派、水田派、石井派、椎名派				
福田赳夫(改選)	1977/11/28～1978/12/07			田中派、大平派、福田派、水田派、石井派、椎名派	徳永 正則	1977/07/30～1980/07/10	1077日	田中派
大平正芳(第1次)	1978/12/07～1979/11/09	大平正芳	大平派	大平派、田中派				
大平正芳(第2次)	1979/11/09～1980/06/31			大平派、田中派				
(臨時代議)伊東正義	1980/06/31～1980/07/17	(代)西村英一	田中派	大平派、田中派				

首相七内閣	在職期間	自民党派系	総務派系	参議院議員	在職期間	在職日数	参議院議員会長の派系
鈴木善幸	1980/07/17～1981/11/30	中曽根派	鈴木派	鈴木派	1980/07/10～1983/07/15	1101日	福田派
鈴木善幸(改選)	1981/11/30～1982/11/27	中曽根派	鈴木派	鈴木派			
中曽根康弘(第1次)	1982/11/27～1983/12/27	中曽根派	中曽根派	中曽根派			
中曽根康弘(第2次)	1983/12/27～1984/11/01	中曽根派	中曽根派	中曽根派			
中曽根康弘(第2次・改選)	1984/11/01～1985/12/28	中曽根派	中曽根派	中曽根派	1983/07/15～1986/07/18	1100日	鈴木派
中曽根康弘(第2次・第2次改選)	1985/12/28～1986/07/22	中曽根派	中曽根派	中曽根派			
中曽根康弘(第3次)	1986/07/22～1987/11/06	中曽根派	中曽根派	中曽根派			
竹下登	1987/11/06～1988/12/27	中曽根派	中曽根派	中曽根派	1986/07/18～1988/09/30	806日	安倍派
竹下登(改選)	1988/12/27～1989/06/03	中曽根派	中曽根派	中曽根派			
宇野宗佑	1989/06/03～1989/08/10	中曽根派	中曽根派	中曽根派	1988/10/04～1989/07/09	279日	宮沢派
海部俊樹(第1次)	1989/08/10～1990/02/28	中曽根派	中曽根派	中曽根派			
海部俊樹(第2次)	1990/02/28～1990/12/29	中曽根派	中曽根派	中曽根派			
海部俊樹(第2次・改選)	1990/12/29～1991/11/05	中曽根派	中曽根派	中曽根派	1989/08/01～1991/08/01	731日	竹下派
宮沢喜一	1991/11/05～1992/12/12	中曽根派	中曽根派	中曽根派			
宮沢喜一(改選)	1992/12/12～1993/08/09	中曽根派	中曽根派	中曽根派	1991/08/01～1992/08/03	369日	三塚派
細川護国	1993/08/09～1994/04/28	中曽根派	中曽根派	中曽根派			
羽田孜	1994/04/28～1994/06/30	中曽根派	中曽根派	中曽根派			
村山富市	1994/06/30～1995/08/08	中曽根派	中曽根派	中曽根派	1992/08/03～1995/08/01	1094日	竹下派→小淵派
村山富市(改選)	1995/08/08～1996/01/11	中曽根派	中曽根派	中曽根派			
橋本龍太郎(第1次)	1996/01/11～1996/11/07	中曽根派	中曽根派	中曽根派			
橋本龍太郎(第2次)	1996/11/07～1997/09/11	中曽根派	中曽根派	中曽根派	1995/08/01～1996/06/18	323日	小淵派
橋本龍太郎(第2次・改選)	1997/09/11～1998/07/30	中曽根派	中曽根派	中曽根派			
小淵龍三	1998/07/30～1999/01/14	中曽根派	中曽根派	中曽根派	1996/06/18～1997/06/17	365日	小淵派
小淵龍三(改選)	1999/01/14～1999/10/05	中曽根派	中曽根派	中曽根派	1997/06/17～1998/07/27	406日	小淵派
小淵龍三(第2次改選)	1999/10/05～2000/04/05	中曽根派	中曽根派	中曽根派	1998/07/27～1999/07/21	360日	三塚派→森派
森喜朗(第1次)	2000/04/05～2000/07/04	中曽根派	中曽根派	中曽根派	1999/07/21～2001/01/15	545日	江藤・亀井派
森喜朗(第2次)	2000/07/04～2000/12/05	中曽根派	中曽根派	中曽根派			
森喜朗(第2次・改選)	2000/12/05～2001/01/06	中曽根派	中曽根派	中曽根派			

首魁と内閣	在職期間	自民党総裁	組織系派	自民党主要派	参院議員会長	在職期間	在職日数	参院議員会長の所属
森喜朗(第2次改選(省庁買収後))	2001/01/06～2001/04/26	森喜朗	森派	森派、橋本派、立藤、亀井派、反加藤グループ(一堀内派)、河野グループ、旧河本派	竹山 格	2001/01/23～2004/07/26	1281日	橋本派
小泉純一郎(第1次改選)	2001/04/26～2003/09/30			森派、立藤、亀井派、山崎派、加藤派、無派閥				
小泉純一郎(第2次改選)	2002/09/30～2003/09/22			森派、江藤、亀井派、山崎派、加藤派、無派閥				
小泉純一郎(第1次、第2次改選)	2003/09/22～2003/11/19			森派、山崎派、旧加藤派、参院橋本派、堀内派、河野グループ				
小泉純一郎(第2次)	2003/11/19～2004/09/27	小泉純一郎	森派	森派、山崎派、小里派(旧加藤派)、参院橋本派、堀内派、河野グループ				
小泉純一郎(第3次改選)	2004/09/27～2005/09/21			森派、山崎派、小里派、参院橋本派、堀内派、河野グループ	青木 幹雄	2004/07/26～2007/08/20	1121日	橋本派→旧橋本派 →津島派
小泉純一郎(第4次改選)	2005/09/21～2006/10/31			森派、山崎派、谷垣派(旧小里派)、参院橋本派、堀内派、河野グループ				
小泉純一郎(第5次改選)	2006/10/31～2006/09/26			森派、山崎派、谷垣派、参院津島派、堀内派、河野グループ				
安倍晋三(第1次改選)	2006/09/26～2007/08/27	安倍晋三	森派	森派、丹羽、古賀派(→古賀派)、伊吹派、高村派、二階グループ、無派閥				
安倍晋三(第2次改選)	2007/08/27～2007/09/26			森派、古賀派、伊吹派、高村派、二階グループ、無派閥				
福田康夫	2007/09/26～2008/08/02	福田康夫	町村派	町村派、津島派、古賀派、山崎派、伊吹派、二階派、谷垣派、高村派				
福田康夫(改選)	2008/08/02～2008/09/24	森生太郎	森生派	町村派、津島派、古賀派、山崎派、伊吹派、二階派、谷垣派、高村派 →森生派、伊吹派、二階派、高村派	尾辻 秀久	2007/08/20～2010/08/11	1088日	津島派→額賀派
鳩山由紀夫	2008/09/16～2010/06/08			五輩派、伊吹派、高村派、額賀派、山崎派、二階派(2009年11月伊吹派に合流)				
菅直人	2010/06/08～2010/09/17			五輩派、伊吹派、高村派、額賀派、山崎派				
菅直人(改選)	2010/09/17～2011/01/14			古賀派、伊吹派、高村派、額賀派、山崎派				
野田佳彦(第2次改選)	2011/01/14～2011/09/02	谷垣禎一	古賀派	五輩派、伊吹派、高村派、額賀派、山崎派	中曾根 弘文	2010/08/11～2013/07/30	1085日	伊吹派→二階派
野田佳彦(改選)	2011/09/02～2012/01/13			五輩派、伊吹派、高村派、額賀派、山崎派				
野田佳彦(第2次改選)	2012/01/13～2012/06/04			五輩派、伊吹派、高村派、額賀派、山崎派				
野田佳彦(第3次改選)	2012/06/04～2012/10/01			五輩派、伊吹派、高村派、額賀派、山崎派				
野田佳彦(第3次改選)	2012/10/01～2012/12/26			町村派、森生派、高村派(→大島派)、額賀派、伊吹派				
安倍晋三(第2次)	2012/12/26～2014/09/03			町村派、森生派、大島派、額賀派、伊吹派(→二階派)				
安倍晋三(第2次改選)	2014/09/03～2014/12/24			町村派、森生派、大島派、額賀派、二階派				
安倍晋三(第3次)	2014/12/24～2015/10/07			細田派、森生派、大島派(→山東派)、額賀派、二階派	清手 麗正	2013/07/30～2016/07/29	1096日	岸田派
安倍晋三(第3次改選)	2015/10/07～2016/08/03			細田派、額賀派、岸田派、森生派、二階派、石原派、山東派				
安倍晋三(第3次改選)	2016/08/03～2017/08/03	安倍晋三	参院派→無派閥	細田派、額賀派、岸田派、森生派、二階派、石原派、山東派(2017年1月森生派に合流)				
安倍晋三(第3次改選)	2017/08/03～2017/11/01			細田派、額賀派、岸田派、森生派、二階派、石原派				
安倍晋三(第3次改選)	2017/11/01～2018/08/02			細田派、額賀派、岸田派、森生派、二階派、石原派	橋本 聖子	2016/07/29～2019/07/29	1096日	細田派
安倍晋三(第4次改選)	2018/08/02～2019/09/11			細田派、森生派、岸田派、二階派、石原派、衆院竹下派				
安倍晋三(第4次改選)	2019/09/11～2020/09/16			細田派、森生派、岸田派、二階派、石原派、衆院竹下派 →二階派、細田派、森生派、竹下派、石原派				
菅義偉	2020/09/16～2021/10/04	菅義偉	無派閥	二階派、細田派、森生派、竹下派、石原派				
岸田文雄(第1次)	2021/10/04～2021/11/10			岸田派、細田派、森生派、竹下派	関口 昌一	2019/07/29～	—	竹下派→茂木派
岸田文雄(第2次)	2021/11/10～2022/09/14	岸田文雄	岸田派	岸田派、安倍派、森生派、竹下派(→茂木派)				
岸田文雄(第2次改選)	2022/09/14～2023/09/14			岸田派、安倍派、森生派、茂木派				
岸田文雄(第2次改選)	2023/09/14～			岸田派、安倍派、森生派、茂木派				

出典：表2と同じ。

表11 歴代自民党参議院幹事長

首長と内閣	在任期間	自派党組織	参議院派閥	自派党主要派系	参議院幹事長	在任期間	在任日数	参議院幹事長の所属
鳩山一郎(第3次)	1952/11/25～1956/02/23	鳩山一郎	鳩山派	鳩山派、橋本派、大野派、岸派、三木(東田)派(河野派)	平井 文重	1955/11/21～1956/01/29	34日	参議院幹事長の所属
石橋山田	1956/12/25～1957/02/25	石橋山田	石橋派	鳩山派、大野派、石井派、三木(松村派)	梶 一	1956/10/29～1957/08/05	281日	石橋派
岸信介(第1次)	1957/02/25～1957/07/10			岸派、佐藤派、河野派、大野派				
岸信介(第1次・改選)	1957/07/10～1958/06/12	岸信介	岸派	岸派、佐藤派、河野派、大野派	伊藤 繁次郎	1957/08/05～1959/01/23	537日	佐藤派
岸信介(第2次)	1958/06/12～1959/06/18			岸派、佐藤派、河野派、大野派				
岸信介(第2次・改選)	1959/06/18～1960/07/19			岸派、佐藤派、河野派、大野派	宮井 謙	1959/01/27～1960/12/26	700日	石井派
池田勇人(第1次)	1960/07/19～1960/12/08			池田派、佐藤派、岸派				
池田勇人(第2次)	1960/12/08～1961/07/18			池田派、大野派、川島派、河野派、三木(松村派)	高橋 達夫	1960/12/26～1962/08/03	588日	石井派
池田勇人(第2次・改選)	1961/07/18～1962/07/18			池田派、大野派、川島派、河野派、三木(松村派)				
池田勇人(第2次・第2次改選)	1962/07/18～1963/07/18	池田勇人	池田派	池田派、大野派、川島派、河野派、三木(松村派)	百武 重信	1962/08/03～1964/07/18	718日	佐藤派
池田勇人(第3次)	1963/07/18～1964/07/18			池田派、大野派、川島派、河野派、三木(松村派)				
池田勇人(第3次・改選)	1964/07/18～1964/11/09			池田派、大野派、川島派、河野派、三木(松村派)	梶原 健二	1964/07/31～1964/10/30	92日	池田派
佐藤栄作(第1次)	1964/11/09～1965/04/03			佐藤派、船田派、村上派、石井派、福田派、川島派、森派、三木派				
佐藤栄作(第1次・改選)	1965/04/03～1966/08/01			佐藤派、船田派、村上派、石井派、福田派、川島派、森派、三木派	斎藤 昇	1964/10/30～1966/12/05	767日	佐藤派
佐藤栄作(第1次・第2次改選)	1966/08/01～1966/12/03			佐藤派、船田派、村上派、石井派、福田派、川島派、森派、三木派				
佐藤栄作(第1次・第3次改選)	1966/12/03～1967/02/17			佐藤派、船田派、村上派、石井派、福田派、川島派、森派、三木派	池水 久常	1966/12/05～1968/08/06	611日	佐藤派
佐藤栄作(第2次)	1967/02/17～1967/11/25	佐藤栄作	佐藤派	佐藤派、船田派、石井派、福田派、川島派、南条派、園田派	斎藤 昇	1968/08/06～1968/12/10	127日	佐藤派
佐藤栄作(第2次・改選)	1967/11/25～1968/11/30			佐藤派、船田派、石井派、福田派、川島派、南条派、園田派				
佐藤栄作(第2次・第2次改選)	1968/11/30～1970/03/17			佐藤派、船田派、石井派、福田派、川島派、南条派、園田派	田中 茂雄	1968/12/10～1971/07/23	958日	佐藤派
佐藤栄作(第3次)	1970/03/17～1971/07/05			佐藤派、船田派、石井派、福田派、川島派、南条派、園田派	菅原 重信	1971/07/23～1972/07/11	353日	佐藤派
佐藤栄作(第3次・改選)	1971/07/05～1972/07/07			佐藤派、船田派、石井派、福田派、川島派、南条派、園田派	菅原 昇	1972/07/11～1972/09/08	60日	田中派
田中角栄(第1次)	1972/07/07～1972/11/22			田中派、大平派、船田派、村上派、石井派、福田派、川島派、中曾根派、園田派				
田中角栄(第2次)	1972/11/22～1973/11/25	田中角栄	田中派	田中派、大平派、船田派、村上派、石井派、福田派、川島派、中曾根派、園田派	徳永 正剛	1972/10/27～1973/12/01	401日	田中派
田中角栄(第2次・改選)	1973/11/25～1974/11/11			田中派、大平派、船田派、水田派、石井派、椎名派、中曾根派、福田派、三木派	堀原 重信	1973/12/01～1974/07/23	235日	福田派
田中角栄(第2次・第2次改選)	1974/11/11～1974/12/09			田中派、大平派、船田派、水田派、石井派、椎名派、中曾根派、福田派、三木派				
田中角栄(第2次・第3次改選)	1974/12/09～1976/06/15			田中派、大平派、船田派、水田派、石井派、椎名派、中曾根派(1974年7月福田派、三木派脱退)	梶原 健二	1974/07/23～1977/01/31	924日	大平派
三木武夫	1976/06/15～1976/12/24	三木武夫	三木派	三木派、船田派、水田派、石井派、福田派、椎名派、中曾根派(1976年7月福田派、三木派、中曾根派脱退)				
三木武夫(改選)	1976/12/24～1977/11/28			三木派、中曾根派	藤島 真敏	1977/01/31～1977/07/30	181日	中曾根派
福田赳夫	1977/11/28～1978/12/07	福田赳夫	福田派	福田派、田中派、大平派、船田派、水田派、石井派、椎名派	藤島 真敏	1977/07/30～1979/01/29	822日	福田派
福田赳夫(改選)	1978/12/07～1979/11/09			福田派、田中派、大平派、船田派、水田派、石井派、椎名派				
大平正芳(第1次)	1979/11/09～1980/06/12	大平正芳	大平派	大平派、田中派				
大平正芳(第2次)	1980/06/12～1980/07/17			大平派、田中派	藤島 真敏	1979/10/29～1980/07/10	256日	三木派
(臨時代理)伊藤正徳		(代行)西村英一	田中派					

苗字七内圖	在籍期間	自民党組織	組織票源	自派勢力基盤	参議院幹事長	在籍期間	在職日数	参議院幹事長の派閥
徳木善孝	1989/07/17～1989/11/30	鈴木善孝	鈴木派	鈴木派、田中派、福田派、中曽根派、中川派、河本派	藤田 正明	1989/07/10～1989/07/15	1101日	大平派→鈴木派
徳木善孝(改選)	1989/11/30～1989/12/27	鈴木善孝	鈴木派	鈴木派、田中派、福田派、中曽根派、中川派、河本派				
中曽根康弘(第1次)	1982/11/27～1989/12/27	中曽根康弘	中曽根派	中曽根派、田中派、鈴木派、福田派、石原派、河本派	中山 太郎	1989/07/15～1989/06/25	712日	福田派
中曽根康弘(第2次)	1989/12/27～1989/01/01	中曽根康弘	中曽根派	中曽根派、田中派、鈴木派、福田派、石原派、河本派	土屋 健彦	1989/06/25～1989/07/18	389日	福田派
中曽根康弘(第2次・第3次改選)	1989/01/01～1989/12/28	中曽根康弘	中曽根派	中曽根派、田中派、鈴木派、福田派、石原派、河本派	鈴木 又三	1989/07/18～1989/08/01	1111日	田中派→竹下派
中曽根康弘(第2次)	1989/07/22～1987/11/06	中曽根康弘	中曽根派	中曽根派、田中派、鈴木派、福田派、石原派、河本派				
竹下登	1987/11/06～1989/12/27	竹下登	竹下派	竹下派、宮沢派、安倍派、中曽根派、河本派				
竹下登(改選)	1989/12/27～1989/06/03	竹下登	竹下派	竹下派、宮沢派、安倍派、中曽根派、河本派				
宇野宗佑	1989/06/03～1989/08/10	宇野宗佑	中曽根派	中曽根派、竹下派、宮沢派、安倍派、河本派				
海部俊樹(第1次)	1989/08/10～1990/02/28	海部俊樹	河本派	河本派、竹下派、宮沢派、安倍派、渡辺派				
海部俊樹(第2次)	1990/02/28～1990/01/29	海部俊樹	河本派	河本派、竹下派、宮沢派、安倍派、渡辺派	斎藤 十朗	1989/08/01～1992/08/03	1099日	竹下派
海部俊樹(第2次・改選)	1990/12/29～1991/11/05	海部俊樹	河本派	河本派、竹下派(一小派閥)、三塚派、渡辺派、河本派				
宮沢喜一	1991/11/05～1992/12/12	宮沢喜一	宮沢派	宮沢派、小派閥、三塚派、渡辺派、河本派				
宮沢喜一(改選)	1992/12/12～1993/08/09	宮沢喜一	宮沢派	宮沢派、小派閥、三塚派、渡辺派、河本派				
細川勝彦	1993/08/09～1993/04/28	細川勝彦	小派閥	宮沢派、小派閥、三塚派、渡辺派、河本派	山本 富雄	1992/08/09～1995/03/16	956日	三塚派
野田茂	1994/04/28～1994/06/30	野田茂	宮沢派	宮沢派、小派閥、三塚派、渡辺派、河本派				
村山富市	1994/06/30～1995/08/08	河野洋平	宮沢派	宮沢派、小派閥、三塚派、渡辺派、河本派				
村山富市(改選)	1995/08/08～1996/01/11	河野洋平	宮沢派	宮沢派、小派閥、三塚派、渡辺派、河本派				
橋本龍太郎(第1次)	1996/01/11～1996/11/07	橋本龍太郎	小派閥	宮沢派、三塚派、小派閥、河本派	村上 正邦	1995/09/24～1998/07/27	1222日	渡辺派→日渡辺派
橋本龍太郎(第2次)	1996/11/07～1997/09/11	橋本龍太郎	小派閥	小派閥、日渡辺派、宮沢派、河本派				
橋本龍太郎(第2次・改選)	1997/09/11～1998/07/30	橋本龍太郎	小派閥	小派閥、日渡辺派、宮沢派、河本派				
小淵三三	1998/07/30～1999/01/14	小淵三三	小派閥	小派閥、日渡辺派、宮沢派、河本派	青木 幹雄	1998/07/27～1999/09/27	428日	小派閥
小淵三三(改選)	1999/01/14～1999/10/05	小淵三三	小派閥	小派閥、宮沢派(一小派閥)、日渡辺派の山崎グループ、田中派	岡野 裕	1999/09/27～2000/07/27	305日	小派閥→日小派閥→橋本派
小淵三三(第2次改選)	1999/10/05～2000/04/05	小淵三三	小派閥	小派閥、江藤、亀井派、萩原、河野グループ、田中派				
森喜朗(第1次)	2000/04/05～2000/07/04	森喜朗	森派	小派閥、江藤、亀井派、萩原、河野グループ				
森喜朗(第2次)	2000/07/04～2000/12/05	森喜朗	森派	森派、田小派閥(橋本派)、江藤、亀井派、河野グループ、田中派(2000年11月の改選のみで主要派入り)	青木 幹雄	2000/07/27～2004/07/26	1461日	橋本派
森喜朗(第2次・改選)	2000/12/05～2001/01/06	森喜朗	森派	森派、橋本派、江藤、亀井派、飯沼グループ、河野グループ、田中派				

首相と内閣	在職期間	自民党組織	組織派閥	自民党主流派	参議院幹事長	在職期間	在職日数	参議院幹事長の所属
森喜朗(第2次、改選<有庁専断制>)	2001/01/06~2001/04/26	森喜朗	森派	森派、橋本派、江藤・亀井派、反加藤グループ(一橋内派)、河野グループ、田河本派	青木 幹雄	2001/00726~2001/00726	1461日	橋本派
小泉純一郎(第1次)	2001/04/26~2002/05/20			森派、江藤・亀井派、山崎派、加藤派、無所属				
小泉純一郎(第2次、改選)	2002/06/30~2003/09/26			森派、江藤・亀井派、山崎派、加藤派、無所属				
小泉純一郎(第1次、第2次、改選)	2003/09/22~2003/11/19			森派、山崎派、旧加藤派、参院橋本派、堀内派、河野グループ				
小泉純一郎(第2次)	2003/11/19~2004/05/27	小泉純一郎	森派	森派、山崎派、小里派、参院橋本派、堀内派、河野グループ	片山 虎之助	2004/0726~2007/0820	1121日	橋本派→旧橋本派 →津島派
小泉純一郎(第2次、改選)	2004/08/27~2005/09/21			森派、山崎派、谷理派(旧小里派)、参院橋本派、堀内派、河野グループ				
小泉純一郎(第3次、改選)	2005/09/21~2005/10/31			森派、山崎派、谷理派、参院津島派、堀内派、河野グループ				
小泉純一郎(第3次、改選)	2005/10/31~2006/09/26			森派、丹羽・古賀派(→古賀派)、伊吹派、高村派、二階グループ、無所属				
安倍晋三(第1次)	2006/09/26~2007/08/27	安倍晋三	森派	森派、古賀派、伊吹派、二階グループ、無所属	山崎 正昭	2007/0820~2008/03/18	577日	町村派
安倍晋三(第2次、改選)	2007/08/27~2008/09/26	福田康夫	町村派	野村派、津島派、古賀派、山崎派、伊吹派、二階派、谷理派、高村派				
福田康夫(改選)	2008/08/02~2008/09/24	福田康夫	町村派	野村派、津島派、古賀派、山崎派、伊吹派、二階派、高村派				
麻生太郎	2008/09/24~2009/09/16	麻生太郎	麻生派	麻生派、伊吹派、二階派、高村派				
鳩山由紀夫	2009/09/16~2010/06/08			五原派、伊吹派、高村派、額賀派、山崎派、二階派(2009年11月伊吹派に合流)	谷川 秀徳	2009/0818~2010/0819	520日	町村派
菅直人	2010/06/08~2010/09/17			五原派、伊吹派、高村派、額賀派、山崎派				
菅直人(改選)	2010/09/17~2011/01/14			五原派、伊吹派、高村派、額賀派、山崎派	小坂 憲次	2010/0819~2011/1/004	412日	額賀派
菅直人(第2次、改選)	2011/01/14~2011/08/02	谷垣祐一	古賀派	五原派、伊吹派、高村派、額賀派、山崎派				
野田佳彦	2011/08/02~2012/01/13			五原派、伊吹派、高村派、額賀派、山崎派				
野田佳彦(改選)	2012/01/13~2012/06/04			五原派、伊吹派、高村派、額賀派、山崎派				
野田佳彦(第2次、改選)	2012/06/04~2012/10/01			五原派、伊吹派、高村派、額賀派、山崎派				
野田佳彦(第3次、改選)	2012/10/01~2012/12/26			野村派、麻生派、高村派(→大島派)、額賀派、伊吹派	梶手 廉正	2011/10/04~2013/07/30	666日	古賀派→岸田派
安倍晋三(第2次)	2012/12/26~2014/09/03			野村派、麻生派、大島派、額賀派、伊吹派(→二階派)	藤 澤史	2013/0730~2014/0912	410日	額賀派
安倍晋三(第2次、改選)	2014/09/03~2014/12/24			野村派、麻生派、大島派、額賀派、伊吹派、二階派				
安倍晋三(第3次)	2014/12/24~2015/10/07			野村派、麻生派、大島派(→山東派)、額賀派、二階派	伊達 忠一	2014/0912~2016/0726	687日	野村派→岸田派
安倍晋三(第3次、改選)	2015/10/07~2016/08/03	安倍晋三	野村派→岸田派	野村派、額賀派、岸田派、麻生派、二階派、石原派、山東派				
安倍晋三(第3次、改選)	2016/08/03~2017/11/01			野村派、額賀派、岸田派、麻生派、二階派、石原派、山東派(2017年7月伊達派に合流)				
安倍晋三(第3次、第2次、改選)	2017/08/03~2017/11/01			野村派、額賀派、岸田派、麻生派、二階派、石原派	吉田 博義	2016/0726~2019/0726	1095日	額賀派→竹下派
安倍晋三(第3次、第3次、改選)	2017/11/01~2019/10/02			野村派、麻生派、岸田派、二階派、石原派、院院竹下派				
安倍晋三(第4次、改選)	2019/10/02~2019/09/11			野村派、麻生派、岸田派、二階派、石原派、院院竹下派				
安倍晋三(第4次、第2次、改選)	2019/09/11~2020/09/16	菅義偉	無所属	野村派、麻生派、岸田派、二階派、石原派、院院竹下派				
菅義偉	2020/09/16~2021/10/04			野村派、麻生派、岸田派、二階派、石原派、院院竹下派				
岸田文雄(第1次)	2021/10/04~2021/11/10	岸田文雄	岸田派	岸田派、安倍派、麻生派、竹下派、石原派	菅 義偉	2019/0911~		野村派→安倍派
岸田文雄(第2次、改選)	2021/11/10~2022/08/10			岸田派、安倍派、麻生派、竹下派(→茂木派)	菅 義偉	2019/0911~		野村派→安倍派
岸田文雄(第2次、改選)	2022/08/10~2023/09/14			岸田派、安倍派、麻生派、茂木派	菅 義偉	2019/0911~		野村派→安倍派
岸田文雄(第2次、第2次、改選)	2023/09/14~			岸田派、安倍派、麻生派、茂木派	菅 義偉	2019/0911~		野村派→安倍派

出典：表2と同じ。

5. 結 論

本稿は自民党政権の分析が「長期政権」および「自民党一強」という点で社会的にも学問的にも重要な課題であることを指摘した。とりわけ、自民党政権が「派閥の連合体」であることを踏まえると、「誰があるいはどの派閥が権力を握るのか」、「どのようにポストを配分するのか」という点を解明することが必要である。にもかかわらず、これらの基礎データは十分に整備されてこなかった。

そこで本稿は、基礎データの未整備という課題に対して、自民党政権における政権中枢の構成（首相・官房長官・党幹部・主流派の派閥）と役職人事（首相・自民党総裁・官房長官・幹事長・総務会長・政務調査会長・選挙対策委員長・副総裁・参議院議員会長・参議院幹事長）のデータを整備することによって解決を図った。その結果、本稿は自民党政権の基礎データを提供することができたと考える。

〈付記〉

本稿で用いたデータは筆者（和足憲明）の researchmap において公開予定である。

参考文献

〈日本語文献（五十音順）〉

朝日新聞取材班（2021）『自壊する官邸 「一強」の落とし穴』朝日新書。

朝日新聞政治部（1968）『政党と派閥 権力の座をめぐる人脈』朝日新聞社。

——（2023）『鶴の政権 ドキュメント岸田官邸620日』朝日新書。

アジア・パシフィック・イニシアティブ（2022）『検証 安倍政権：保守とリアリズムの政治』文春新書。

飯尾潤（2007）『日本の統治構造』中公新書。

石川真澄・広瀬道貞（1989）『自民党 — 長期支配の構造』岩波書店。

石川真澄・山口二郎（2021）『戦後政治史 第四版』岩波新書。

井芹浩文（1988）『派閥再編成 — 自民党政治の表と裏』中公新書。

伊藤昌哉（2009a・b）『自民党戦国史 上・下』ちくま文庫。

猪口孝（1991）「自民党研究の複合的視点」『レヴァイアサン』第9号。

猪口孝・岩井奉信（1987）『「族議員」の研究 自民党政権を牛耳る主役たち』日本経済新聞社。

居安正（1983）『政党派閥の社会学 — 大衆民主制の日本的展開 —』世界思想社。

- 居安正 (1996) 「自民党の派閥」西川知一・河田潤一編著『政党派閥 — 比較政治学的研究 —』ミネルヴァ書房。
- 岩井奉信 (1990) 『「政治資金」の研究』日本経済新聞社。
- 上神貴佳 (2013) 『政党政治と不均一な選挙制度 国政・地方政治・党首選出過程』東京大学出版会。
- 内山融 (2007) 『小泉政権 — 「パトスの首相」は何を変えたのか』中公新書。
- 奥健太郎 (2014) 「事前審査制の起点と定着に関する一考察 — 自民党結党前後の政務調査会 —」『法學研究』第87巻第1号。
- 奥健太郎・河野康子 (2015) 『自民党政治の源流 事前審査制の史的検証』吉田書店。
- 奥健太郎・黒澤良編著 (2022) 『官邸主導と自民党政治 小泉政権の史的検証』吉田書店。
- 奥島貞雄 (2005) 『自民党幹事長室の30年』中公文庫。
- カーティス、ジェラルド (1983) 『代議士の誕生 — 日本式選挙運動の研究 [新版]』(山岡清二訳) サイマル出版会。
- (1987) 『「日本型政治」の本質 — 自民党支配の民主主義』(山岡清二訳) TBS プリタニカ。
- カーティス、ジェラルド・L. (2001) 『永田町政治の興亡』(野口やよい訳) 新潮社。
- 加藤淳子・キャロル・マーシオン (2008) 「イタリア・キリスト教民主党と自民党の政党内組織」(山本健太郎訳) 河田潤一編著『汚職・腐敗・クライエンテリズムの政治学』ミネルヴァ書房。
- 蒲島郁夫 (2004) 『戦後政治の軌跡』岩波書店。
- 上川龍之進 (2010) 『小泉改革の政治学 — 小泉純一郎は本当に「強い首相」だったのか』東洋経済新報社。
- (2018a・b) 『「安倍一強」の制度分析 (一) (二・完)』『阪大法学』第67巻第5号・第67巻第6号。
- カルダー、ケント・E. (1989) 『自民党長期政権の研究 — 危機と補助金 —』(淑子カルダー訳) 文藝春秋。
- 川上高志 (2022) 『検証 政治改革—なぜ劣化を招いたのか』岩波新書。
- 河田潤一 (1996) 「政党派閥とクライエンテリズム」西川知一・河田潤一編著『政党派閥 — 比較政治学的研究 —』ミネルヴァ書房。
- 川人貞史 (1996a) 「シニオリティ・ルールと派閥」『レヴァイアサン』臨時増刊号。
- (1996b) 「自民党における役職人事の制度化」『法學』第59巻第6号。
- 北岡伸一 (1985) 「自由民主党 — 包括政党の合理化 —」神島二郎編『現代日本の政治構造』法律文化社。
- (2008) 『自民党 — 政権党の38年』中公文庫。
- 木代泰之 (1985) 『自民党税制調査会』東洋経済新報社。
- キャンベル、ジョン・C. (2014) 『自民党政権の予算編成』(真淵勝訳) 勁草書房。
- 金泳坤 (1997) 「自民党における派閥と閣僚人事 — 勢力均衡人事とその背景 —」『法学政治学論究』第33号。
- 河野勝 (1991) 「自民党 — 組織理論からの検討」『レヴァイアサン』第9号。
- 後藤謙次 (2014a・b・c) 『ドキュメント平成政治史 1・2・3』岩波書店。

- 後藤基夫・内田健三・石川真澄 (1994a・b) 『戦後保守政治の軌跡 上・下』岩波書店。
- 小宮京 (2010) 『自由民主党の誕生：総裁公選と組織政党論』木鐸社。
- 齊藤淳 (2010) 『自民党長期政権の政治経済学 利益誘導政治の自己矛盾』勁草書房。
- 境家史郎 (2023) 『戦後日本政治史 占領期から「ネオ55年体制」まで』中公新書。
- 境家史郎・谷澤厚志 (2005) 「自民党参院派閥」東大法・第5期蒲島郁夫ゼミ編『参議院の研究：第2巻 議員・国会編』木鐸社。
- 佐々木毅・21世紀臨調編著 (2013) 『平成デモクラシー 政治改革25年の歴史』講談社。
- 佐々木毅・吉田慎一・谷口将紀・山本修嗣編著 (1999) 『代議士とカネ』朝日選書。
- 笹部真理子 (2017) 『「自民党型政治」の形成・確立・展開 ― 分権的組織と県連の多様性 ―』木鐸社。
- 佐藤誠三郎・松崎哲久 (1986) 『自民党政権』中央公論社。
- 信田智人 (2013) 『政治主導 vs. 官僚支配 自民政権、民主政権、政官20年闘争の内幕』朝日選書。
- 清水真人 (2018) 『平成デモクラシー史』ちくま新書。
- 自由民主党 (2006) 『自由民主党五十年史 資料編』自由民主党。
- 白糸裕輝 (2008) 「小泉政権期のシニオリティ・ルールと派閥」東大法・第7期蒲島郁夫ゼミ編
- 白鳥令 (1995) 「日本の政治資金と政治腐敗」H.E.アレキサンダー・白鳥令編著『民主主義のコスト ― 政治資金の国際比較 ―』(岩崎正洋ほか訳) 新評論。
- 菅原琢 (2014) 「政治：再生産される混迷と影響力を増す有権者」小熊英二編著『平成史【増補新版】』河出書房新社。
- 砂原庸介 (2017) 『分裂と統合の日本政治―統治機構改革と政党システムの変容』千倉書房。
- 政策研究大学院大学 C.O.E. オーラル・政策研究プロジェクト (2004) 『斎藤十朗 オーラル・ヒストリー』政策研究大学院大学。
- セイヤー、N. B. (1968) 『自民党』(小林克己訳) 雪華社。
- 芹川洋一 (2018) 『平成政権史』日本経済新聞出版社。
- 高安健将 (2009) 『首相の権力 ― 日英比較からみる政権党とのダイナミズム ―』創文社。
- 竹中治堅 (2006) 『首相支配 ― 日本政治の変貌』中公新書。
- 建林正彦 (2004) 『議員行動の政治経済学 自民党支配の制度分析』有斐閣。
- 建林正彦編著 (2013) 『政党組織の政治学』東洋経済新報社。
- 田中善一郎 (1981) 『自民党体制の政治指導』第一法規出版。
- (1986) 『自民党のドラマツルギー 総裁選出と派閥』東京大学出版会。
- 田村重信 (2019) 『秘録・自民党政務調査会 16人の総理に仕えた男の真実の告白』講談社。
- 東大法・蒲島郁夫ゼミ編 (2000) 『現代日本の政治家像 第II巻 資料解題篇』木鐸社。
- 東大法・第7期蒲島郁夫ゼミ編 (2008) 『小泉政権の研究』木鐸社。
- 富森叡児 (2006) 『戦後保守党史』岩波現代文庫。
- 中北浩爾 (2014) 『自民党政治の変容』NHK 出版。
- (2017) 『自民党―「一強」の実像』中公新書。
- (2019) 『自公政権とは何か ― 「連立」にみる強さの正体』ちくま新書。
- 日本経済新聞社編 (1983) 『自民党政調会』日本経済新聞社。

- 野中尚人 (1995) 『自民政権下の政治エリート — 新制度論による日仏比較 —』東京大学出版会。
- (2008) 『自民政治の終わり』ちくま新書。
- (2013) 『さらばガラパゴス政治 決められる日本に作り直す』日本経済新聞出版社。
- 野中尚人・青木遥 (2016) 『政策会議と討論なき国会 官邸主導体制の成立と後退する熟議』朝日選書。
- 濱本真輔 (2018) 『現代日本の政党政治 — 選挙制度改革は何をもたらしたのか』有斐閣。
- (2022) 『日本の国会議員 政治改革後の限界と可能性』中公新書。
- 広瀬道貞 (1981) 『補助金と政権党』朝日新聞社。
- (1989) 『政治とカネ』岩波新書。
- 樋渡展洋・斉藤淳編 (2011) 『政党政治の混迷と政権交代』東京大学出版会。
- 福井治弘 (1969) 『自由民主党と政策決定』福村出版。
- 星浩 (2019) 『永田町政治の興亡 権力闘争の舞台裏』朝日選書。
- 牧原出 (2016) 『「安倍一強」の謎』朝日新書。
- (2018) 『崩れる政治を立て直す — 21世紀の日本行政改革論』講談社現代新書。
- 升味準之輔 (1985a・b) 『現代政治 1955年以後 上・下』東京大学出版会。
- 待鳥聡史 (2001) 「参議院自民政権における閣僚ポスト配分ルールの形成 — 出発点としての1971年参議院議長選挙 —」『選挙研究』第16号。
- (2002) 「参議院自民政権と政党再編」『レヴァイアサン』第30号。
- (2012) 『首相政治の制度分析 現代日本政治の権力基盤形成』千倉書房。
- (2015) 『政党システムと政党組織』東京大学出版会。
- (2020) 『政治改革再考 変貌を遂げた国家の軌跡』新潮社。
- 松浦淳介 (2023) 「自民政権下の閣僚人事と参議院議員 — 参議院自民政権における人事慣行の形成と動揺 —」『法學研究』第96巻第2号。
- 的場敏博 (1986) 「自民政権の政策決定過程」中野実編著『日本型政策決定の変容』東洋経済新報社。
- 御厨貴 (2015) 『安倍政権は本当に強いのか 盤石ゆえに脆い政権運営の正体』PHP 新書。
- 宮城大蔵編著 (2021) 『平成の宰相たち — 指導者十六人の肖像 —』ミネルヴァ書房。
- 宮崎吉政 (1970) 『実録政界二十五年』読売新聞社。
- (1981) 『No. 2の人 — 自民政権幹事長』講談社。
- 村川一郎 (1989) 『自民政権の政策決定システム』教育社。
- (2000) 『政策決定過程 日本国の形式的政府と実質的政府』信山社。
- 葉師寺克行 (2014) 『現代日本政治史 政治改革と政権交代』有斐閣。
- 依田博 (1985) 「自民政権派閥と内閣形成 岸内閣から中曽根内閣まで」『公共選択の研究』第6号。
- ライサソン、マイケル (1967) 「自民政権とは連立政権とみつけたり」『中央公論』1967年8月号。
- リード、スティーヴン・R. (1991) 「自由民主党の固定化」(石橋通宏訳)『レヴァイアサン』第9号。
- 渡邊昭夫編 (2001) 『戦後日本の宰相たち』中公文庫。

- 渡辺恒雄 (1964) 『派閥 日本保守党の分析』 弘文堂。
 ——— (1967) 『派閥と多党化時代 — 政治の密室増補新版 — 』 雪華社。
 ——— (2014) 『派閥 — 保守党の解剖』 弘文堂。

〈英語文献(アルファベット順)〉

- Bettcher, Kim Eric (2005) “Factions of Interest in Japan and Italy: The Organizational and Motivational Dimensions of Factionalism”, *Party Politics*, Vol.11, No.3.
- Catalinac, Amy (2016) “From Pork to Policy: The Rise of Programmatic Campaigning in Japanese Elections”, *The Journal of Politics*, Vol.78, No.1.
- Cox, Gary W. and Frances Rosenbluth (1993) “The Electoral Fortunes of Legislative Factions in Japan”, *American Political Science Review*, Vol. 87, No. 3.
- Cox, Gary W. and Frances Rosenbluth (1996) “Factional Competition for the Party Endorsement: The Case of Japan's Liberal Democratic Party”, *British Journal of Political Science*, Vol.26, No.2.
- Cox, Gary W., Frances McCall Rosenbluth, and Michael F. Thies (1999) “Electoral Reform and the Fate of Factions: The Case of Japan's Liberal Democratic Party”, *British Journal of Political Science*, Vol. 29, No. 1.
- Cox, Gary W., Frances M. Rosenbluth, and Michael F. Thies (2000) “Electoral Rules, Career Ambitions, and Party Structure: Comparing Factions in Japan's Upper and Lower Houses”, *American Journal of Political Science*, Vol. 44, No. 1.
- Cox, Gary W. and Michael F. Thies (1998) “The Cost of Intraparty Competition: The Single, Nontransferable Vote and Money Politics in Japan”, *Comparative Political Studies*, Vol. 31, No. 3.
- Endo, Masahisa and Robert J. Pekkanen (2016) “The LDP: Return to Dominance? Or a Golden Age Built on Sand?”, in Robert J. Pekkanen, Steven R. Reed, and Ethan Scheiner (eds), *Japan Decides 2014: The Japanese General Election*, Palgrave Macmillan.
- Estévez-Abe, Margarita (2006) “Japan's Shift Toward a Westminster System: A Structural Analysis of the 2005 Lower House Election and Its Aftermath”, *Asian Survey*, Vol. 46, No. 4.
- George Mulgan, Aurelia (2000) “Japan's Political Leadership Deficit”, *Australian Journal of Political Science*, Vol.35, No. 2.
- George Mulgan, Aurelia (2018) *The Abe Administration and the Rise of the Prime Ministerial Executive*, Routledge.
- Hayao, Kenji (1993) *The Japanese Prime Minister and Public Policy*, University of Pittsburgh Press.
- Hrebenar, Ronald J. and Akira Nakamura (2000) “The Liberal Democratic Party: Still the Most Powerful Party in Japan”, in Ronald J. Hrebenar (ed.), *Japan's New Party System*, Westview Press.
- Iwasaki, Masahiro (2023) *The Presidentialization of Japanese Politics*, Routledge.
- Kohno, Masaru (1992) “Rational Foundations for the Organization of the Liberal

- Democratic Party in Japan”, *World Politics*, Vol. 44, No. 3.
- Kohno, Masaru (1997) *Japan's Postwar Party Politics*, Princeton University Press.
- Krauss, Ellis S. and Benjamin Nyblade (2005) “'Presidentialization' in Japan? The Prime Minister, Media and Elections in Japan”, *British Journal of Political Science*, Vol. 35, No. 2.
- Krauss, Ellis S. and Robert J. Pekkanen (2010) “The Rise of Fall of Japan’s Liberal Democratic Party”, *The Journal of Asian Studies*, Vol.69, No.1.
- Krauss Ellis S. and Robert J. Pekkanen (2011) *The Rise and Fall of Japan's LDP: Political Party Organizations as Historical Institutions*, Cornell University Press.
- Leiserson, Michael (1968) “Factions and Coalitions in One-Party Japan: An Interpretation Based on the Theory of Games”, *American Political Science Review*, Vol. 62, No. 3.
- McElwain, Kenneth Mori (2008) “Manipulating Electoral Rules to Manufacture Single-Party Dominance”, *American Journal of Political Science*, Vol.52, No.1.
- Mishima, Ko (2007) “Grading Japanese Prime Minister Koizumi’s Revolution: How Far Has the LDP’s Policymaking Changed?”, *Asian Survey*, Vol. 47, No. 5.
- Mishima, Ko (2019) “The Presidentialization of Japan’s LDP Politics: Analyzing Its Causes, Limits, and Perils”, *World Affairs*, Vol. 182, No.1.
- Muramatsu, Michio and Ellis S. Krauss (1987) “The Conservative Policy Line and the Development of Patterned Pluralism”, in Kozo Yamamura and Yasukichi Yasuba (eds.), *The Political Economy of Japan vol. 1: The Domestic Transformation*, Stanford University Press.
- Nemoto, Kuniaki (2020) “Japan’s Liberal Democratic Party: Changes in Party Organization under Shinzō Abe”, in Robert J. Pekkanen and Saadia M. Pekkanen (eds.), *The Oxford Handbook of Japanese Politics*, Oxford University Press.
- Nemoto, Kuniaki, Robert Pekkanen and Ellis Krauss (2014) “Over-Nominating Candidates, Undermining the Party: The Collective Action Problem under SNTV in Japan”, *Party Politics*, Vol.20, No.5.
- Ono, Yoshikuni (2012) “Portfolio Allocation as Leadership Strategy: Intraparty Bargaining in Japan”, *American Journal of Political Science*, Vol. 56, No.3.
- Prak, Cheol Hee (2001) “Factional Dynamics in Japan’s LDP since Political Reform: Continuity and Change”, *Asian Survey*, Vol.41, No.3.
- Pekkanen, Robert J., Benjamin Nyblade and Ellis S. Krauss (2014) “The Logic of Ministerial Selection: Electoral System and Cabinet Appointments in Japan”, *Social Science Japan Journal*, Vol. 17, No.1.
- Reed, Steven R. (2009) “Party Strategy or Candidate Strategy: How Does the LDP Run the Right Number of Candidates in Japan’s Multi-Member Districts?”, *Party Politics*, Vol.15, No.3.
- Reed, Steven R. (2011) “The Liberal Democratic Party: An Explanation of its Successes and Failures”, in Alisa Gaunder (ed.), *The Routledge Handbook of Japanese Politics*,

Routledge.

- Reed, Steven R. and Kay Shimizu (2009) “Avoiding a Two-Party System: The Liberal Democratic Party versus Duverger’s Law”, in Steven R. Reed, Kenneth Mori McElwain, and Kay Shimizu (eds.), *Political Change in Japan: Electoral Behavior, Party Realignment, and the Koizumi Reforms*, The Walter H. Shorenstein Asia-Pacific Research Center.
- Scheiner, Ethan (2006) *Democracy without Competition in Japan: Opposition Failure in a One-Party Dominant State*, Cambridge University Press.
- Shinoda, Tomohito (2000) *Leading Japan: The Role of the Prime Minister*, Praeger.
- Shinoda, Tomohito (2003) “Koizumi’s Top-Down Leadership in the Anti-Terrorism Legislation: The Impact of Political Institutional Changes”, *SAIS Review*, Vol. 23, No.1.
- Shinoda, Tomohito (2013) *Contemporary Japanese Politics: Institutional Changes and Power Shifts*, Columbia University Press.
- Shinoda, Tomohito (2020) “The Policymaking Process in Japan”, in Robert J. Pekkanen and Saadia M. Pekkanen (eds.), *The Oxford Handbook of Japanese Politics*, Oxford University Press.
- Shinoda, Tomohito (2023) “The Japanese prime minister and the executive institutional setting”, *Asian Journal of Comparative Politics*, Vol.8, No.1.
- Takenaka, Harukata (2019) “Expansion of the Prime Minister’s Power in the Japanese Parliamentary System: Transformation of Japanese Politics and Institutional Reforms”, *Asian Survey*, Vo. 59, No.5.
- Terada, Takashi (2015) “The Abe Effect and Domestic Politics”, *Asian Perspective*, Vol. 39, No. 3.